



coconala

株式会社ココナラ

シェアリングサービス・スキルシェア利用に
関する意識・実態調査

2017.10.16

調査概要

【リサーチ日時】	2017年9月6日・7日
【ターゲット】	
1. ビジネス：	[首都圏/大都市/地方] x [男性/女性] x [年代] x [利用/認知のみ]
2. ワーママ：	[首都圏/大都市/地方] x [利用/認知のみ]
3. 主婦：	[首都圏/大都市/地方] x [利用/認知のみ]
【サンプル数】	930
【定義】	
ビジネス（女性）：	働いている x 子供なし
ワーママ：	働いている x 子供あり
主婦：	働いていない x 子供あり
首都圏：	一都三県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）
大都市：	大阪府、愛知県、京都府、福岡県、広島県、宮城県
地方：	上記以外
シェアリングサービス：	メルカリやラクサスのような「モノ」、Airbnbやスペースマーケットのような「空間」、UberやAnycaのような「移動」、キッズラインやココナラのような「スキル」など、インターネット上のプラットフォームを介して個人間でシェア（売買や提供）をするサービス
スキルシェアリングサービス：	スキル（知識、経験など）をインターネット上のプラットフォームを介して個人間でシェア（売買や提供）をするサービス 例：キッズライン、タスカジ、ココナラ、ストアカ、クラウドワークス等
利用：	個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のものも含む）を所有することなく金銭の支払いを通じて活用すること
提供：	個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のものも含む）の活用により収入を得ること

サマリー（1）：シェアリングサービス

- シェアリングサービスはリーズナブルな価格と不要なモノを持ちたくないといった理由から、口コミや広告によって利用が広がっている。
- 利用者の29%は月に1回以上シェアリングサービスを利用し、特に地方の主婦は52%が月に1回以上利用している。
- シェアリングサービスの満足度は84%と高く、男性で若いほど満足度が高い。また、利用者の44%は既存のサービスよりサービスの質が高いと考えている。
- 一方で、利用者は個人間トラブルや個人情報漏洩などに対して不安を抱えながら利用しており、特に主婦や地方在住者ほど不安が大きい。
- シェアリングサービスを本業で使いたい人は利用者の47%に到達するが、トラブルへの懸念以上に社内制度で許可されていないことを理由に利用が進まない。
- シェアリングサービスを提供するとしたら、利用者の45%が月に5万円以上、21%が月に10万円以上の収入を期待している。また、年齢が上がるにつれて収入を求めない比率が高まる。
- 提供したいシェアリングサービスはモノが1位だが、男性は移動手段、スキル、女性は家事、スキルが続く。また首都圏ではスキルが高い傾向にある。

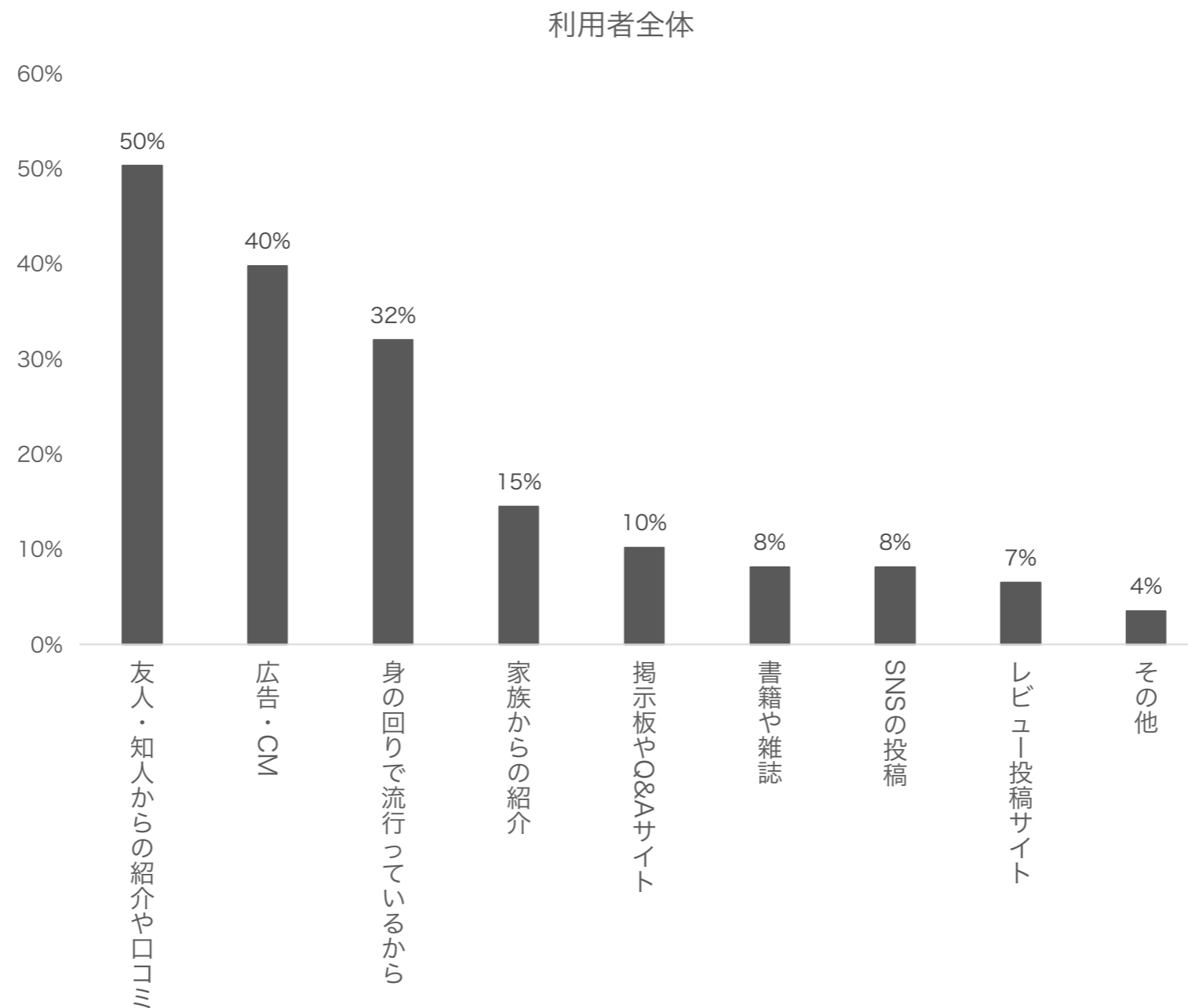
サマリー（２）：スキルシェアリングサービス

- スキルシェアは、認知は若い、働いている人の方が高いが、認知している方における利用率では、高齢や主婦の方が高い。
- スキルシェアについても全体の傾向と同様に、地方の主婦が最も利用頻度が高く、利用者の56%が月に1回以上利用する。
- 提供したいスキルは、男性は旅行、ITスキル、家具組み立て、資料作成、デザイン、女性は買い物、託児・育児、子育て、料理、掃除に興味。
- スキルシェアの提供者について、男性の5割以上は5万円以上の月収を得ているが、女性は、9割の主婦が5万円未満の月収であることから、全体でも約7割が5万円未満となっている。
- スキルシェアを提供する理由は、男性は自由に使えるお金を稼ぎたいが、女性は時間と場所にとらわれない働き方をしたいが多い。

シェアリングサービス利用の経緯・理由

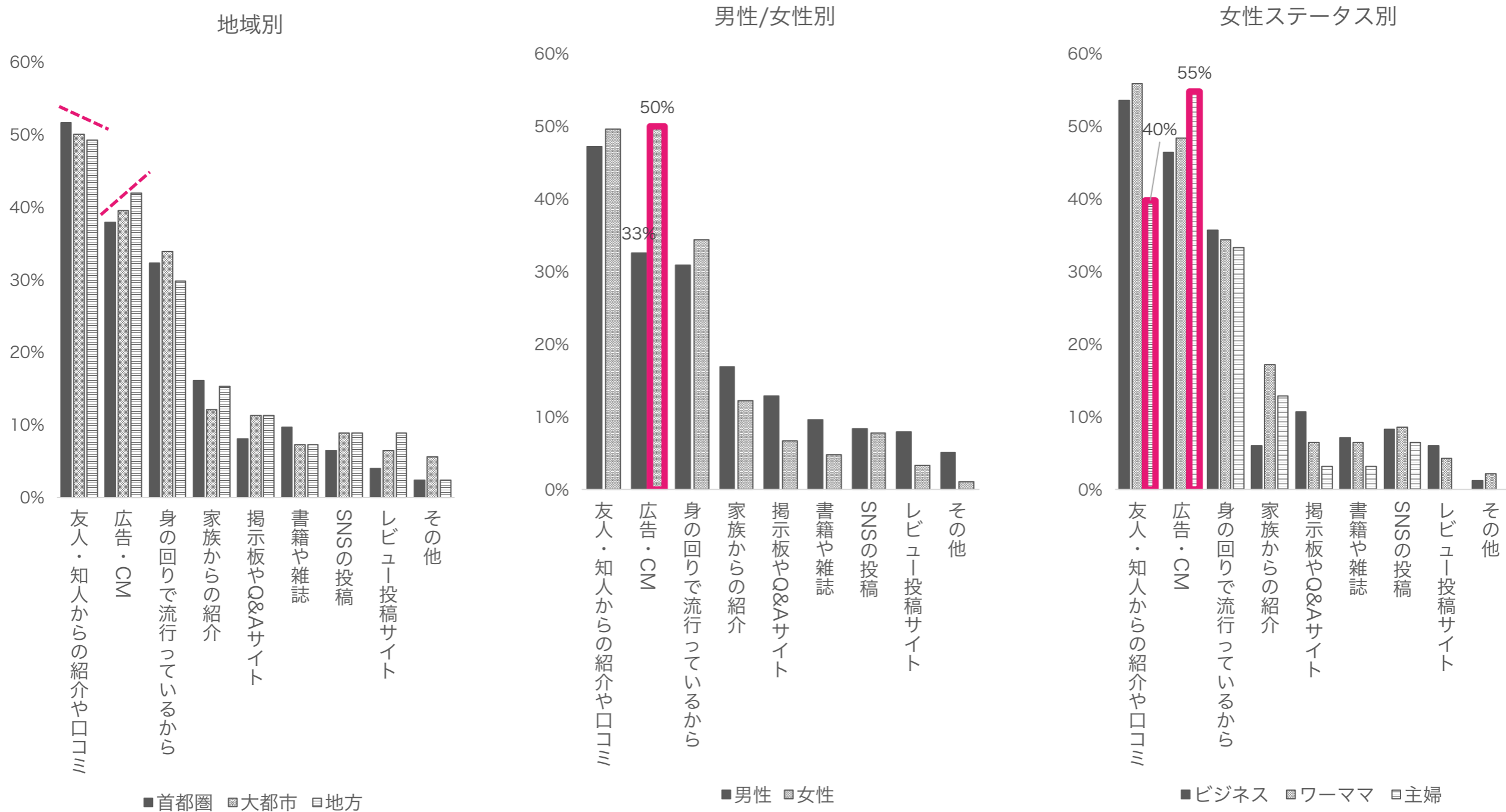
シェアリングサービスを利用した経緯は、友人からの紹介・口コミが50%と最も多く、広告・CMが40%と続く

Q. シェアリングサービスを利用した経緯を選択してください（複数回答可）



地域別では、首都圏は口コミが、地方では広告が強い。また、女性は広告経由が多く、特に主婦は55%と高い。

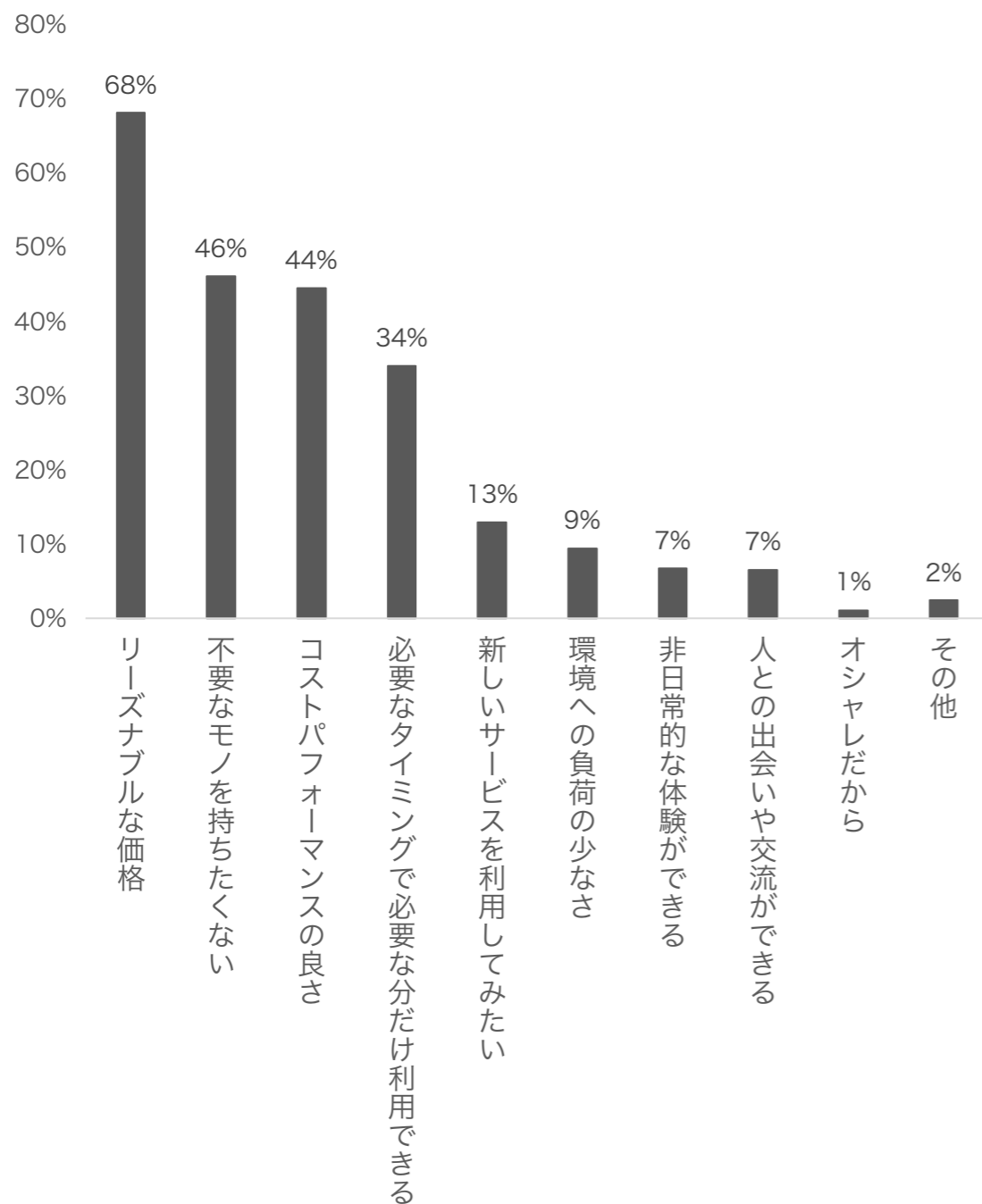
Q. シェアリングサービスを利用した経緯を選択してください（複数回答可）



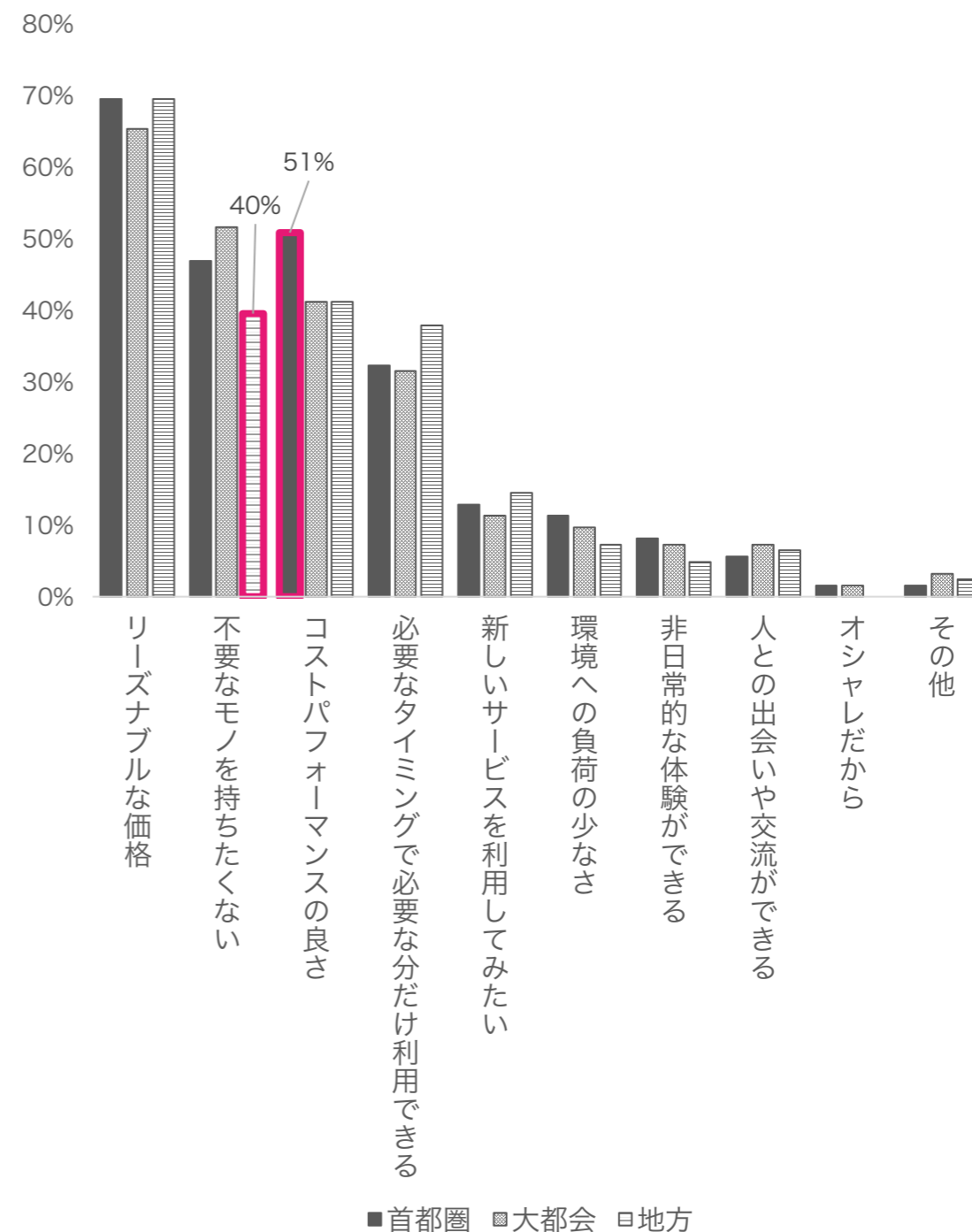
「リーズナブルな価格」がシェアリングサービスの主な利用理由。地域別で見ると、地方では「不要なモノを持ちたくない」が少なく、首都圏では「コストパフォーマンスの良さ」が相対的に強い。

Q. シェアリングサービスの利用理由を教えてください（複数回答可）

利用者全体



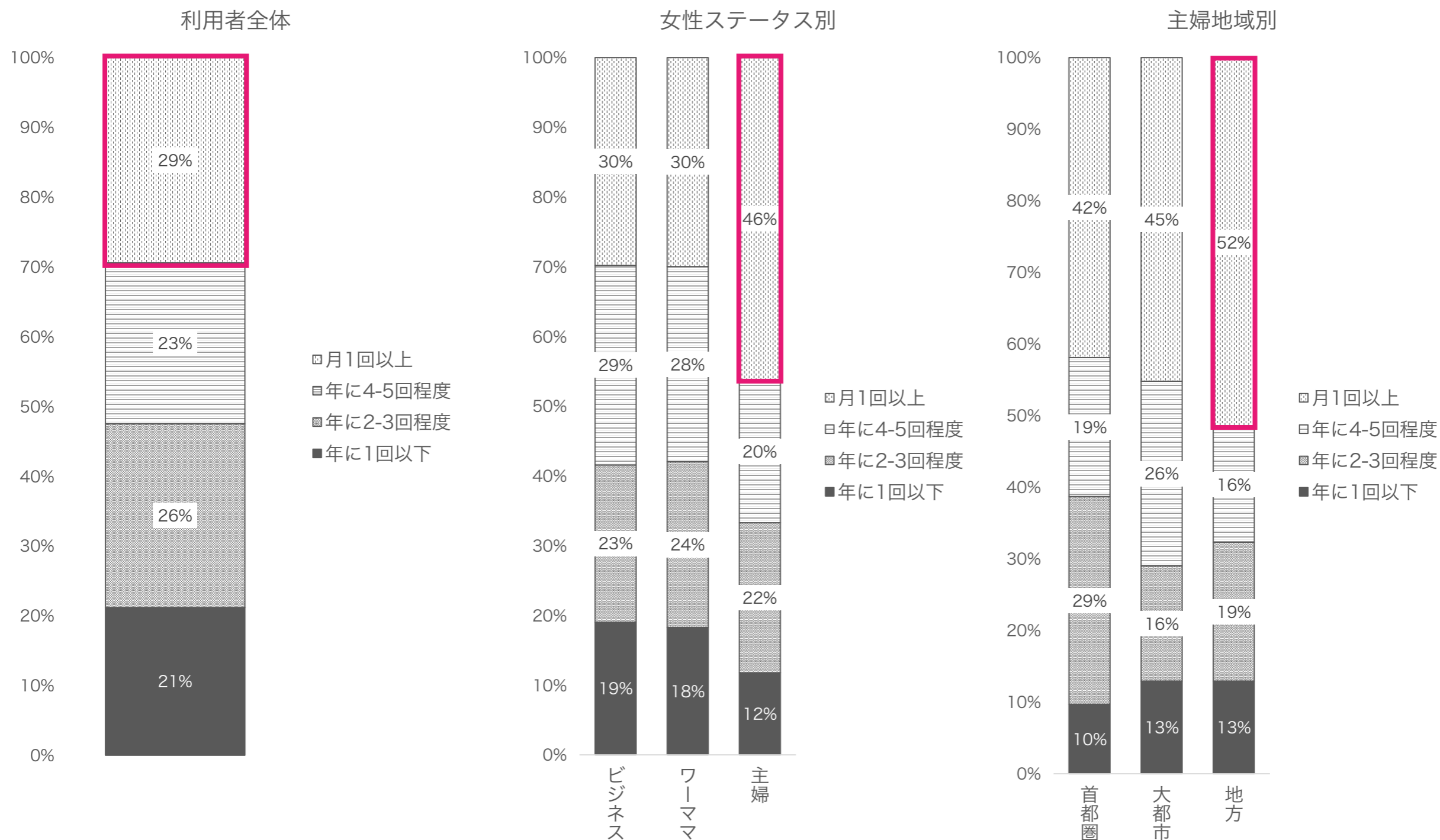
地域別



シェアリングサービスの利用状況と課題

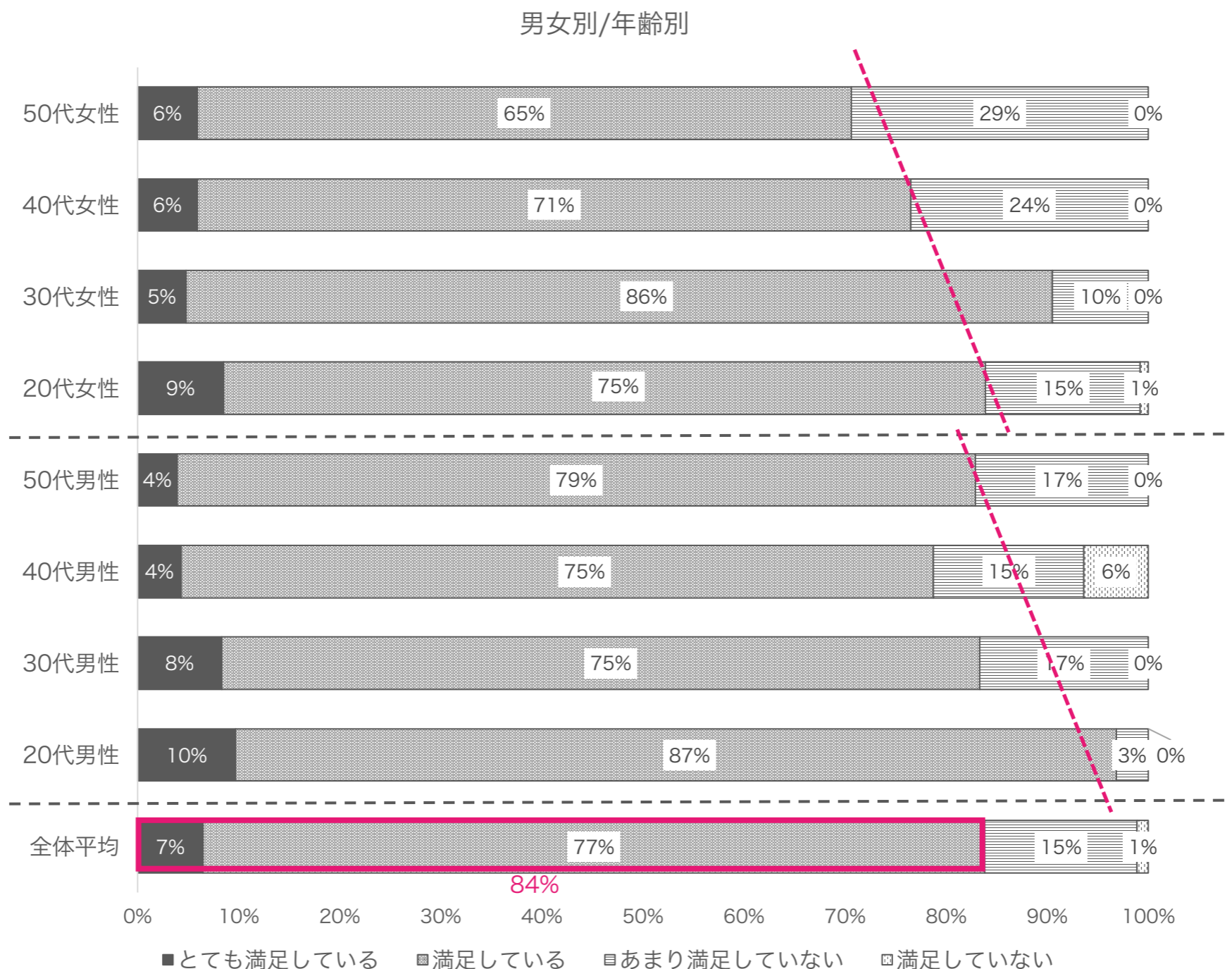
利用者の29%は月に1回以上シェアリングサービスを利用、主婦は特に多く、地方の主婦は52%が月に1回以上利用する。

Q. あなたがシェアリングサービスを利用する頻度を教えてください。



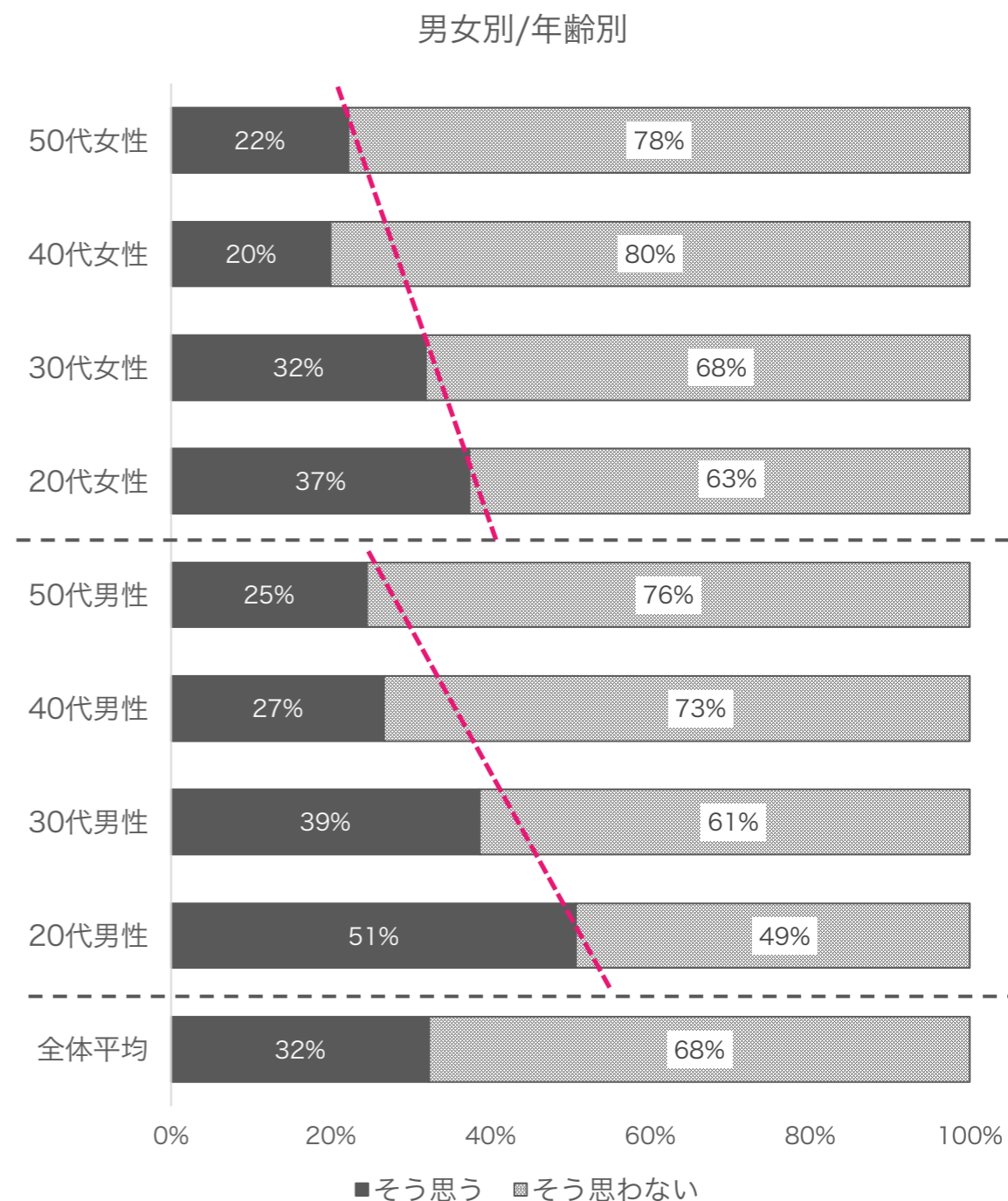
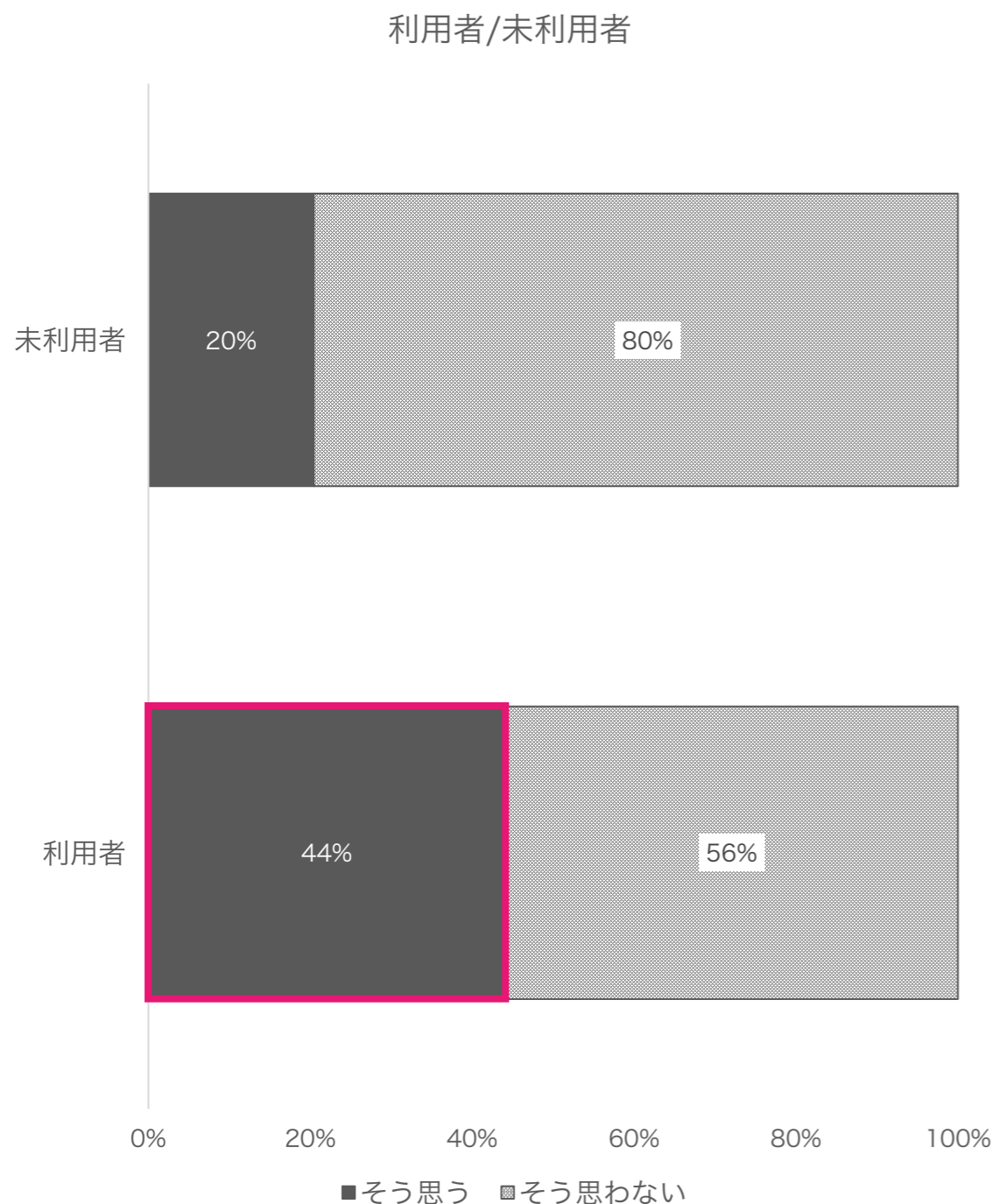
84%がシェアリングサービス利用時に満足。
女性より男性が、年齢は若いほうが満足度が高い傾向。

Q. シェアリングサービス利用時に満足しましたか。



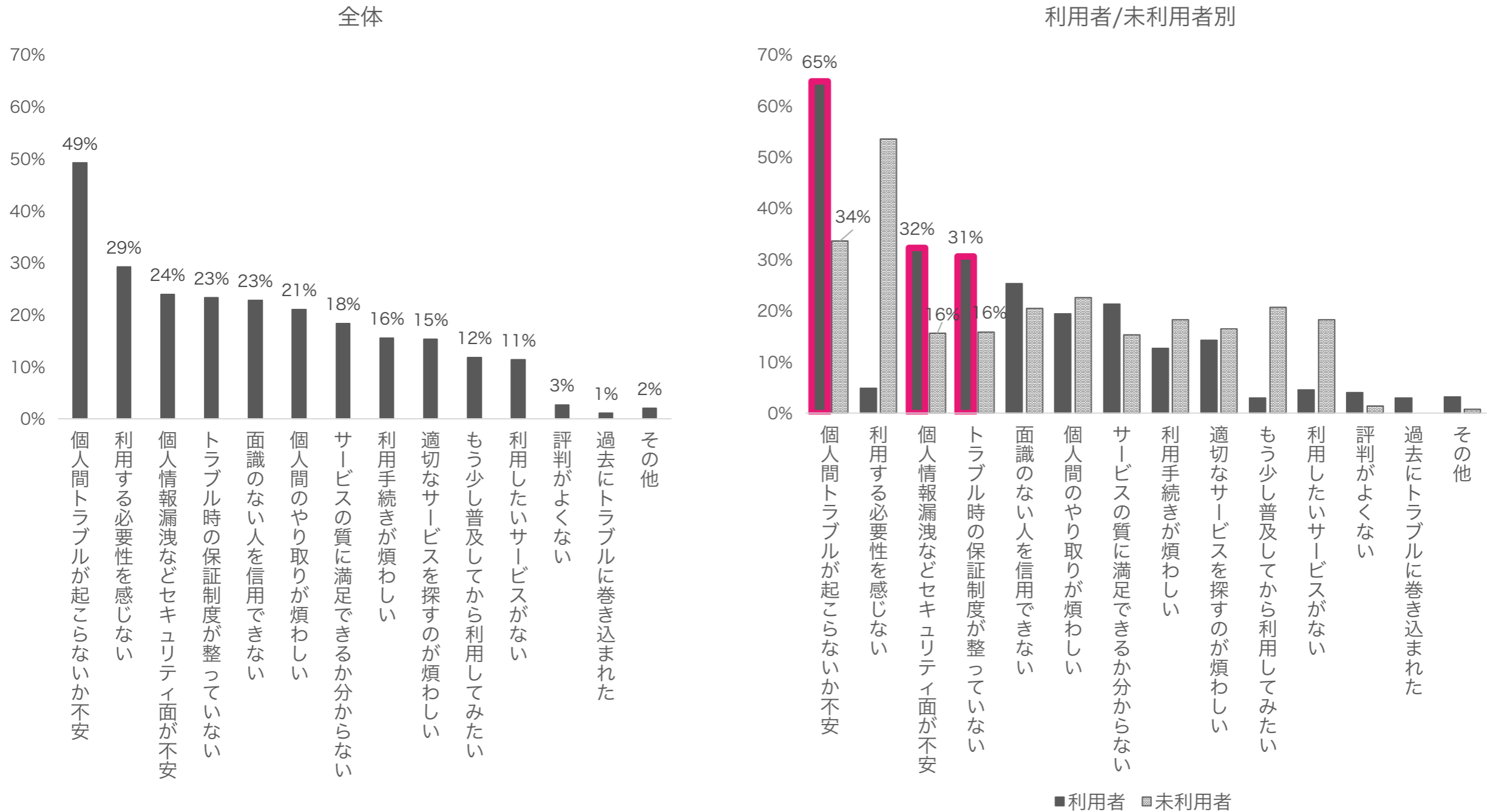
シェアリングサービスの利用者の44%は、既存サービスよりシェアリングサービスの方が質が高いと思っている。この傾向は女性より男性が、年齢が若いほど強い。

Q. シェアリングサービスの方が既存サービスよりサービスの質が高いと思いますか。



シェアリングサービスの利用者は「個人間トラブル」「セキュリティ」「トラブル時の保証制度」などへの不安を抱えながら利用している。

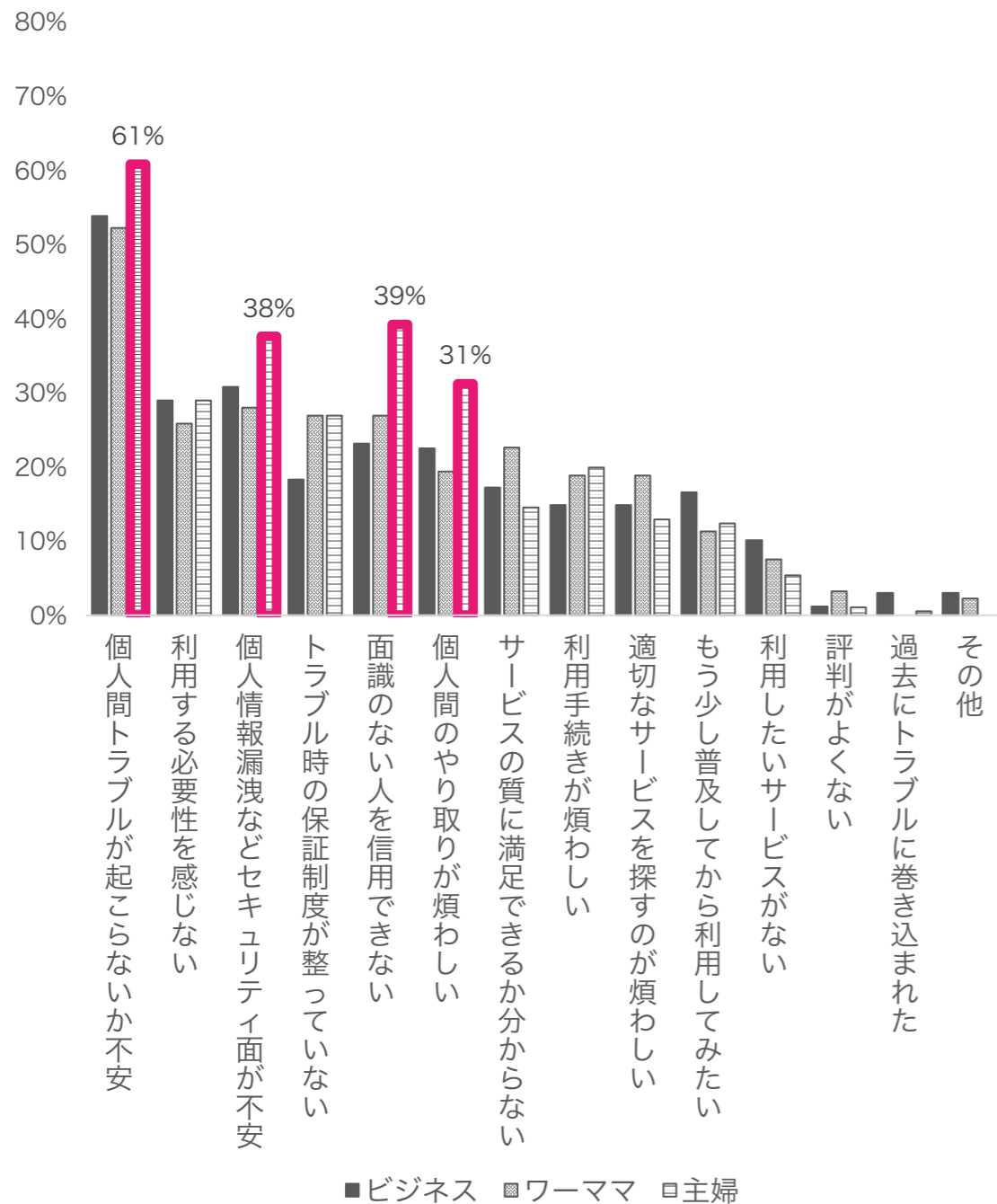
Q. シェアリングサービスを利用するにあたっての不安な点や課題を選択してください（複数回答可）



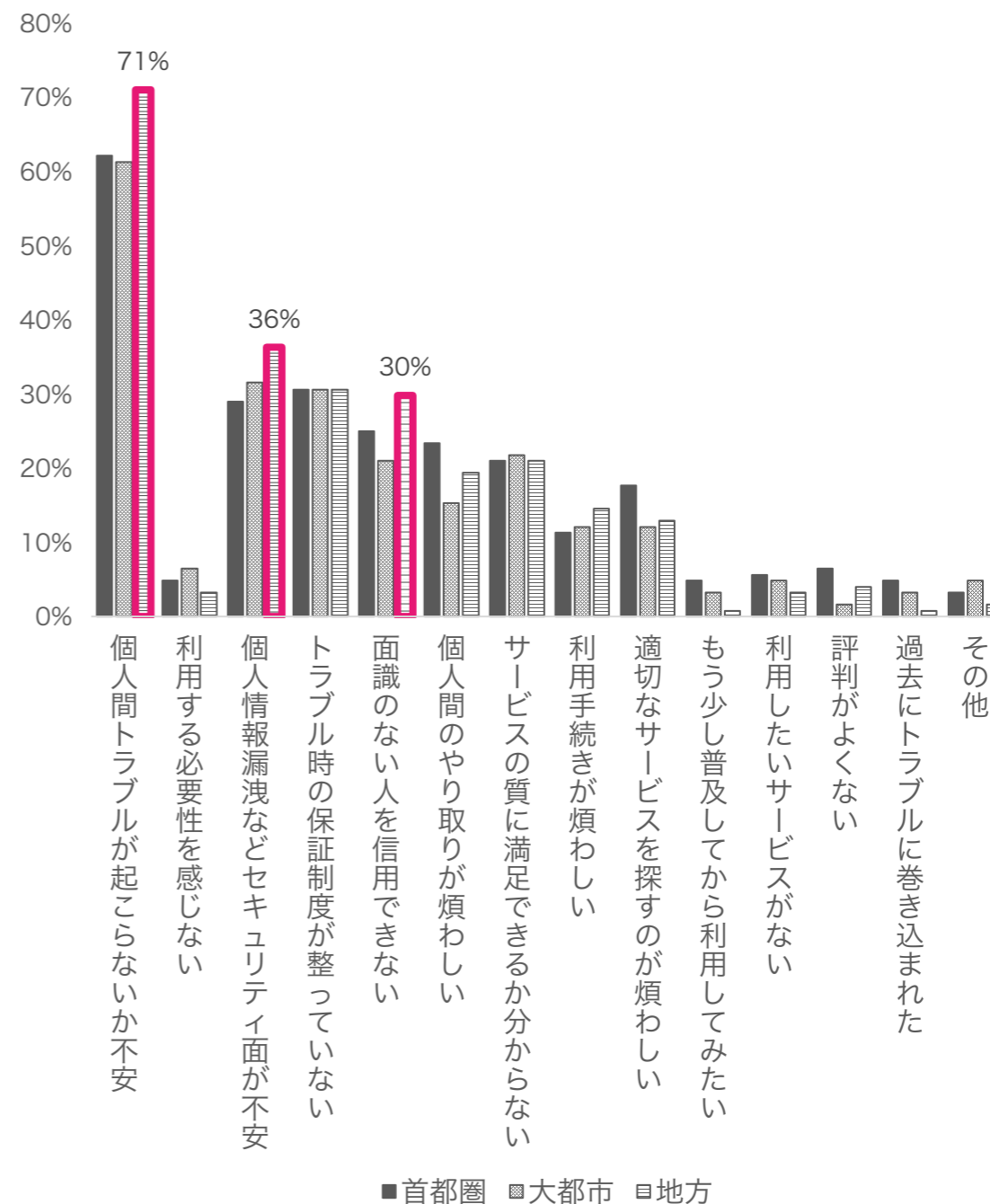
特に主婦は個人間のトラブルやセキュリティなどに対して強い不安を抱いている。さらに地方のほうが不安が大きい傾向。

Q. シェアリングサービスを利用するにあたっての不安な点や課題を選択してください（複数回答可）

女性ステータス別

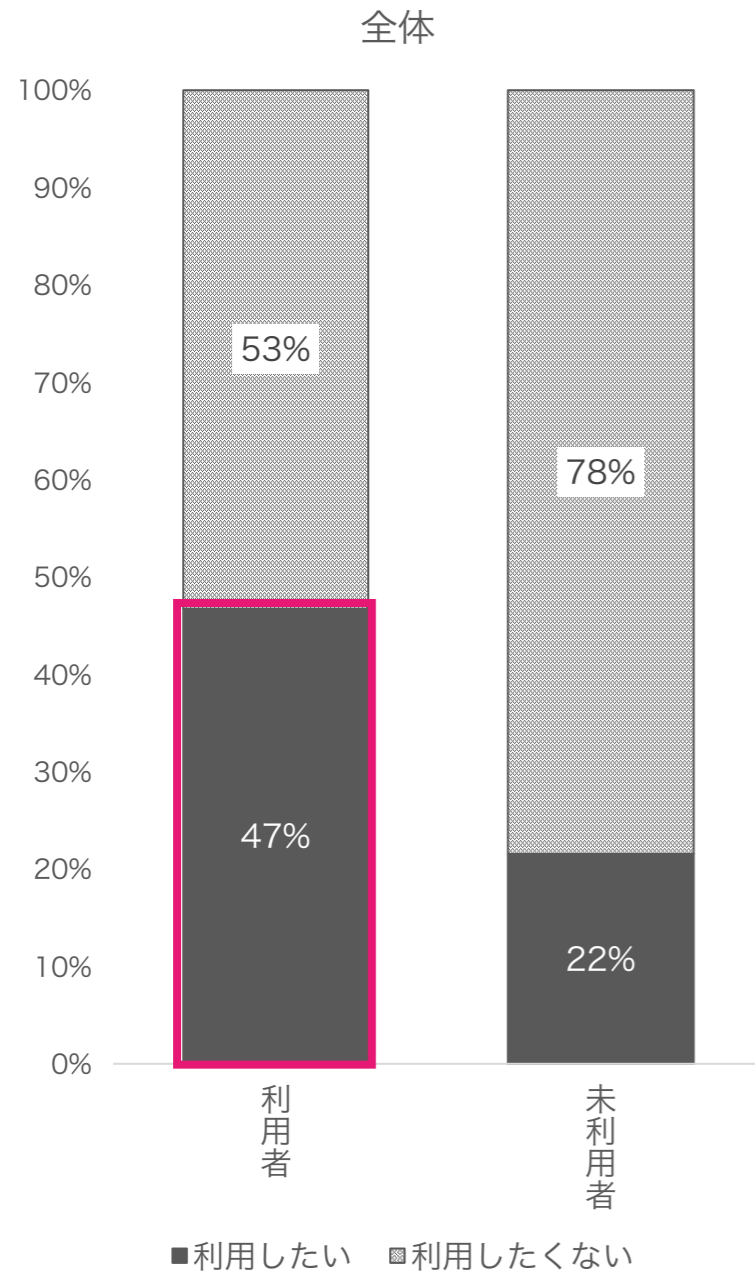


利用者 地域別

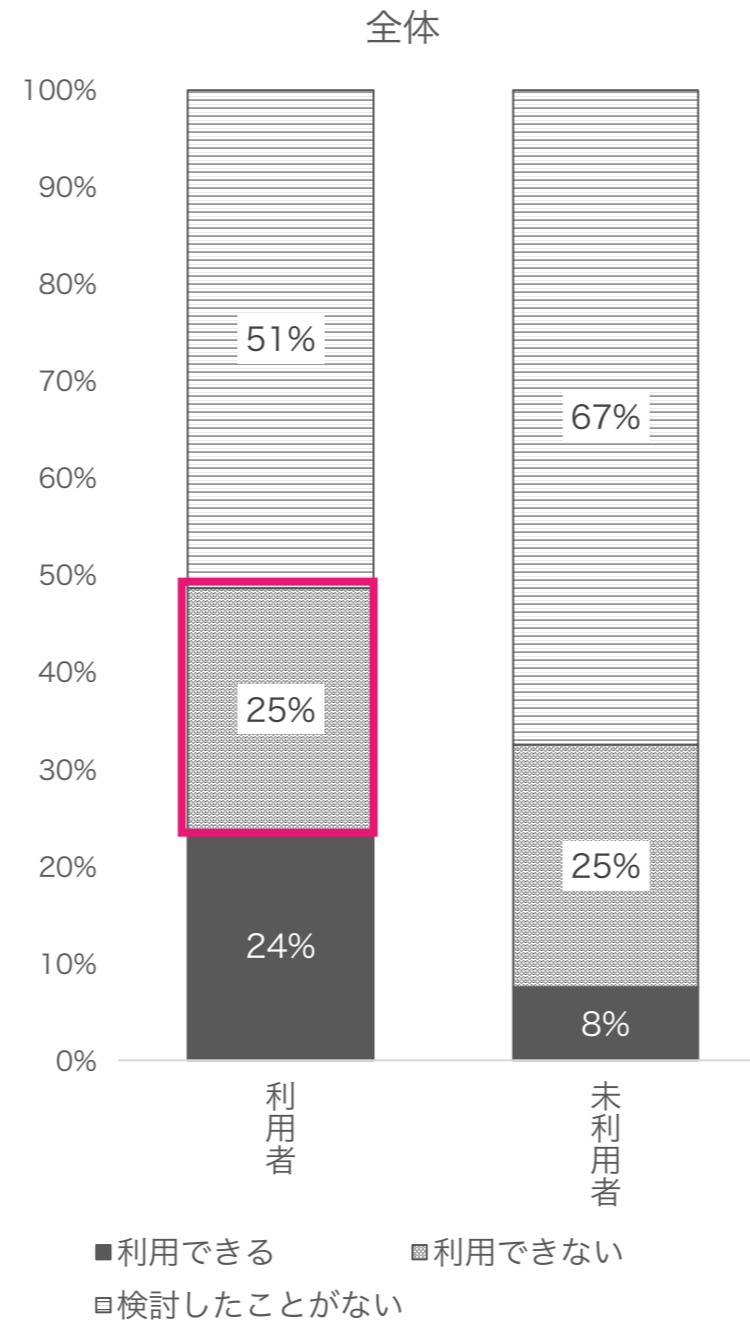


シェアリングサービス利用者の47%は本業での利用意向があるが、その約半数が「社内制度」「トラブル懸念」等の理由で利用できない。

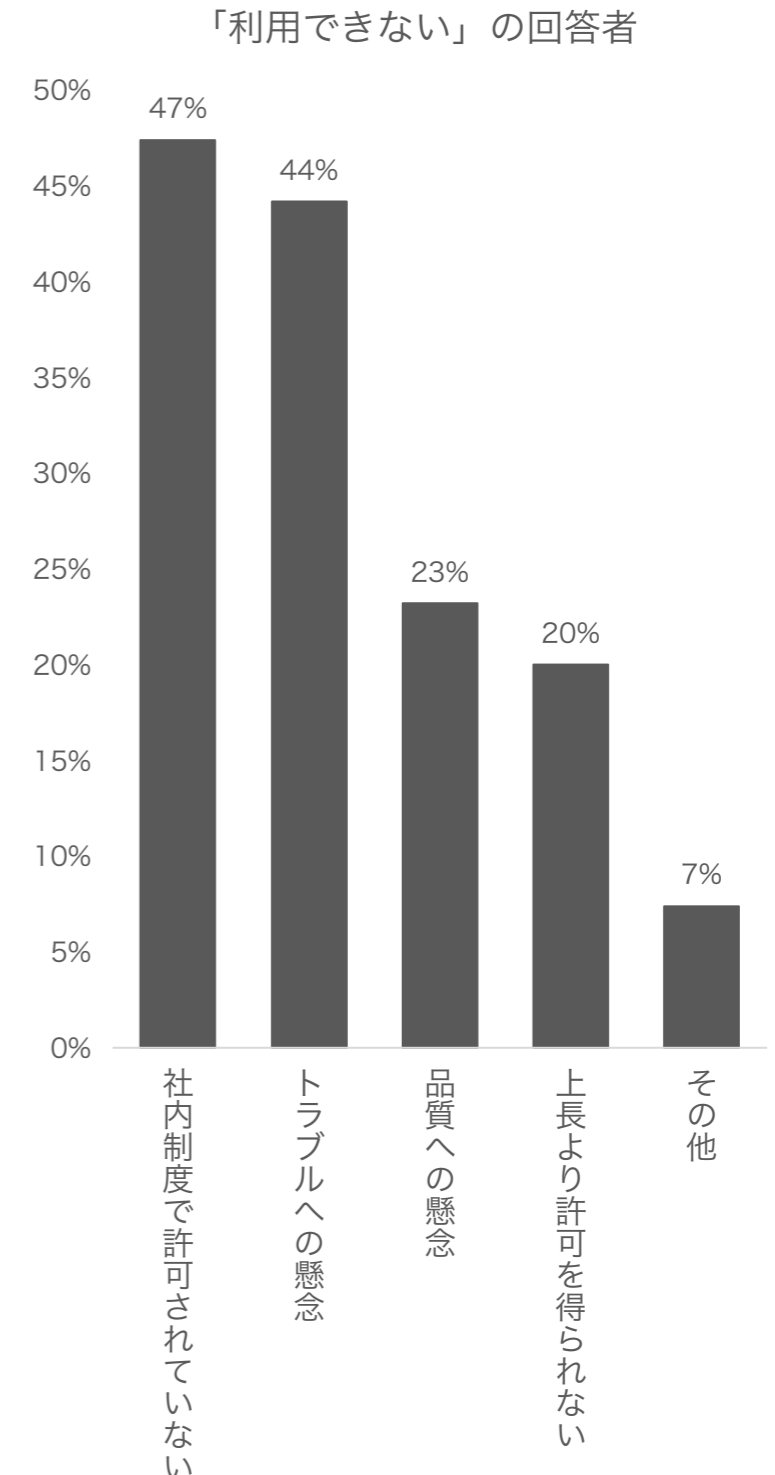
Q. 今後シェアリングサービスを本業で利用したいですか。



Q. シェアリングサービスを本業で利用できますか。

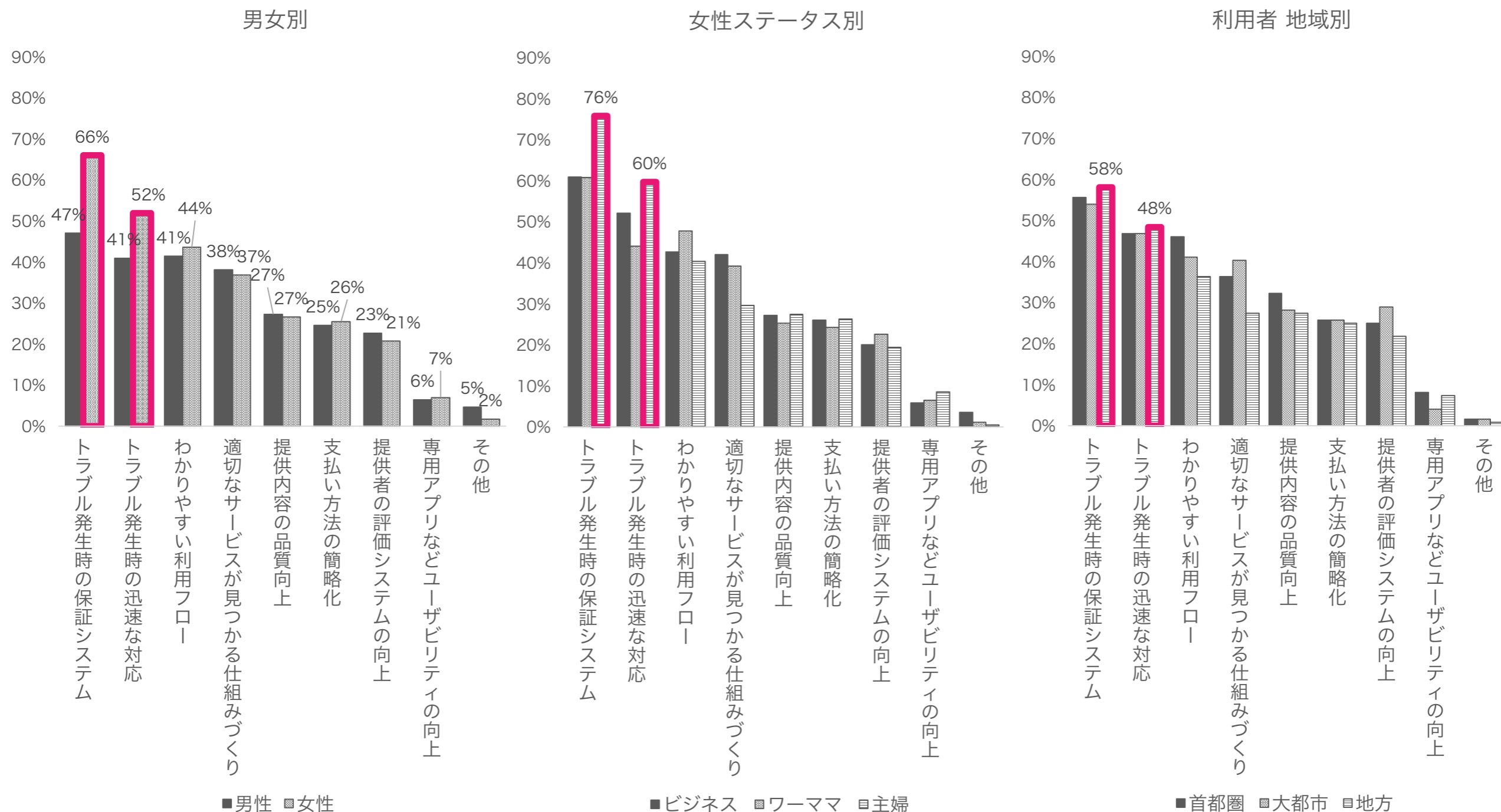


Q. 本業で利用できない理由を教えてください (複数回答可)



改善して欲しいポイントは「トラブル発生時の保証や迅速な対応」、男性より女性（特に主婦）、地方のほうが強く望んでいる傾向。

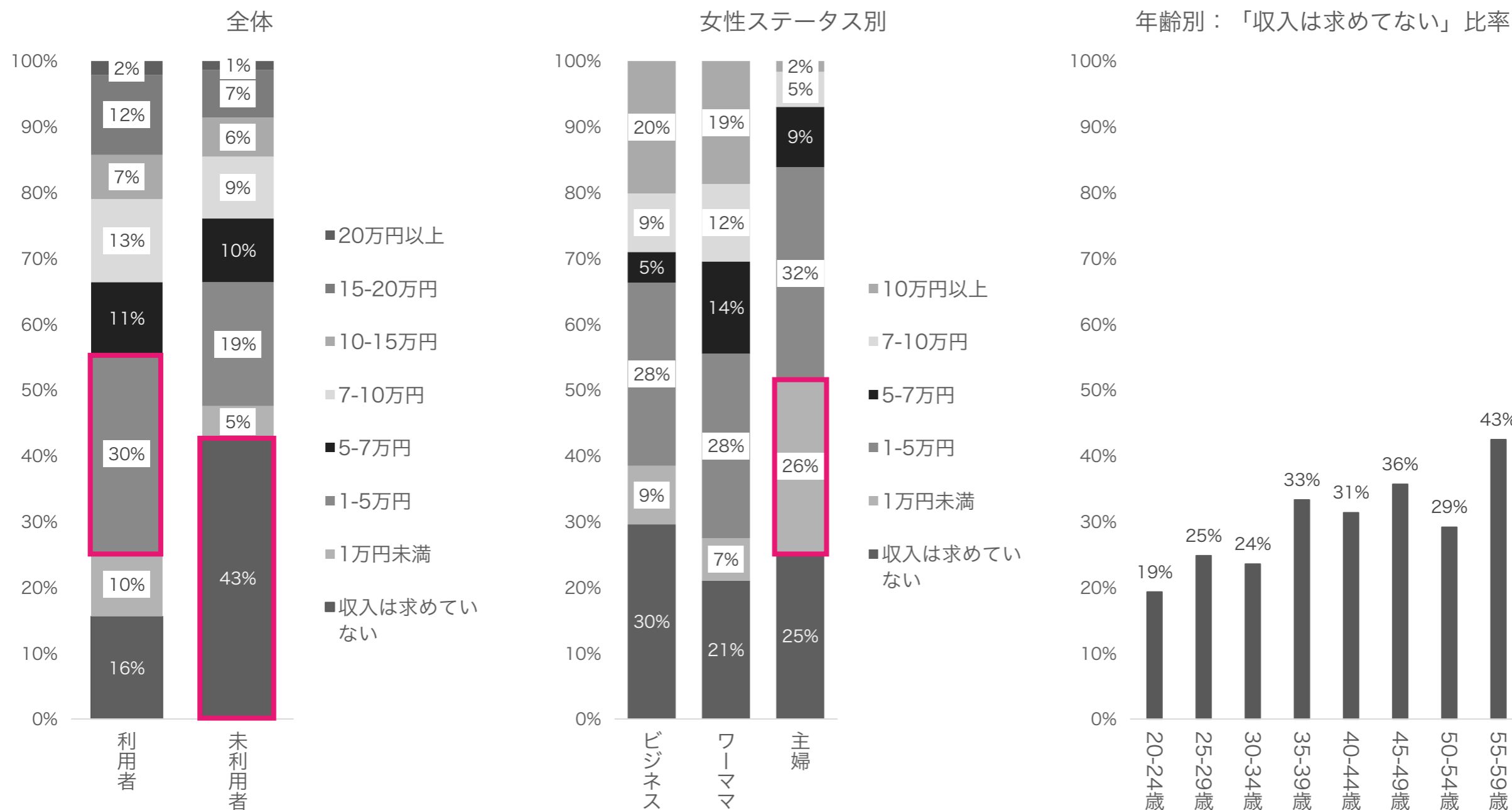
Q. シェアリングサービスに改善してほしいポイントを教えてください（複数回答可）。



シェアリングサービスの提供意向

希望月収は「利用者では1-5万円が30%と最も多い」「未利用者の43%は収入を求めない」「主婦は1万円未満が多い」「年齢とともに収入を求めなくなる」といった特徴がある

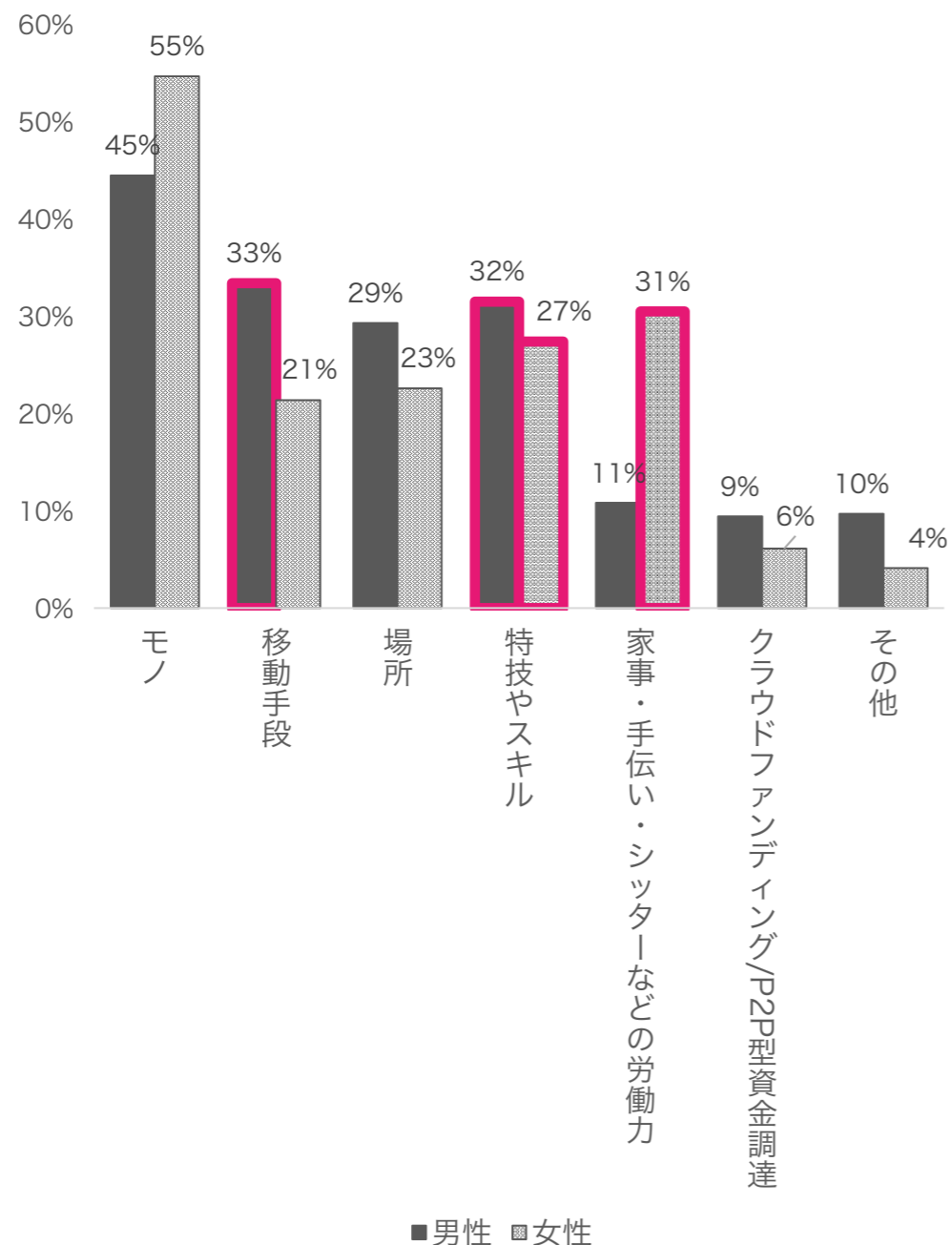
Q. あなたがシェアリングサービスを提供する場合の希望月収を教えてください。



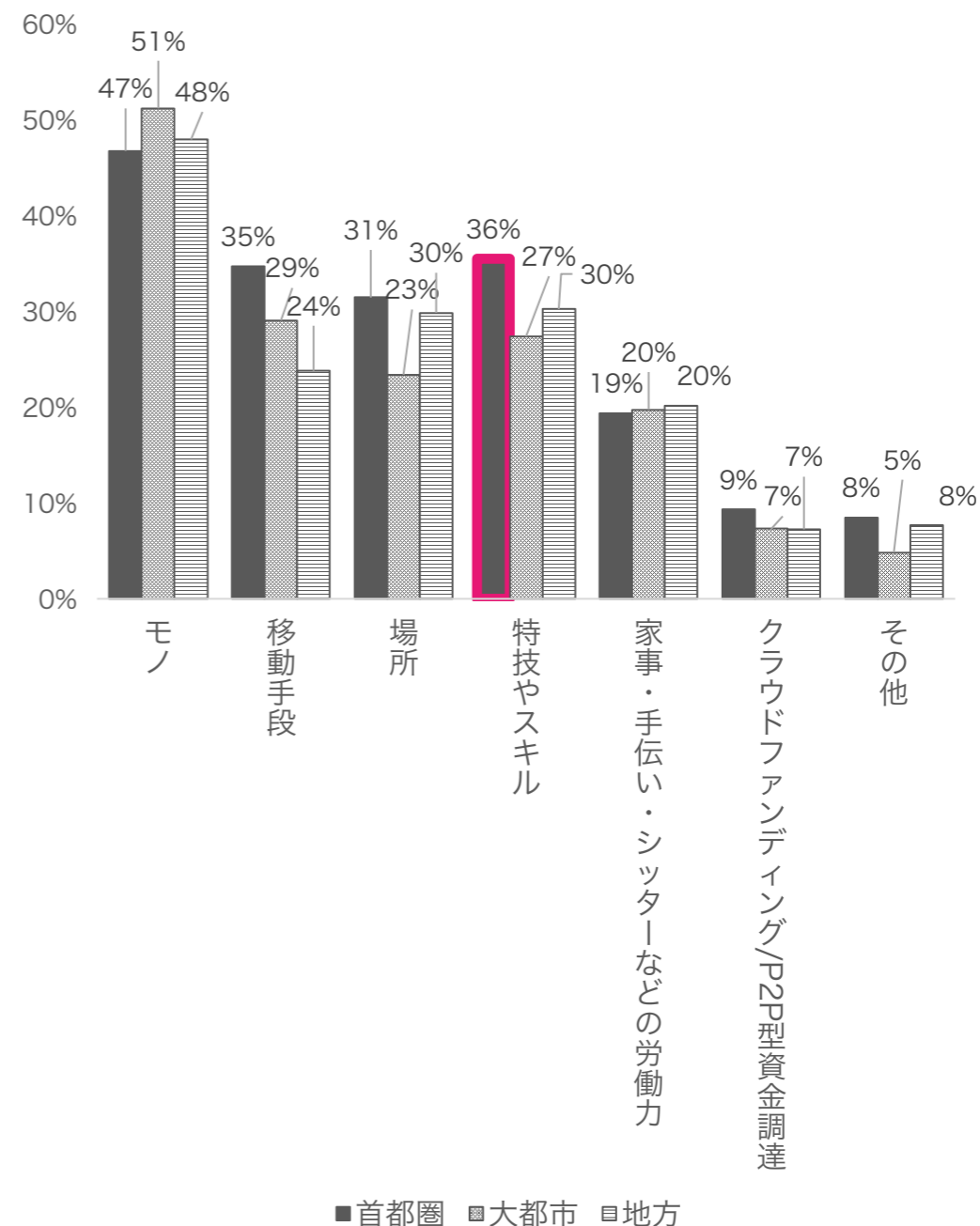
提供したいシェアリングサービスは「モノ」が1位だが、男性は「移動手段」「スキル」、女性は「家事等」「スキル」、首都圏では「スキル」が続く

Q. 今後提供してみたいシェアリングサービスを選択してください（複数回答可）。

男女別



地域別

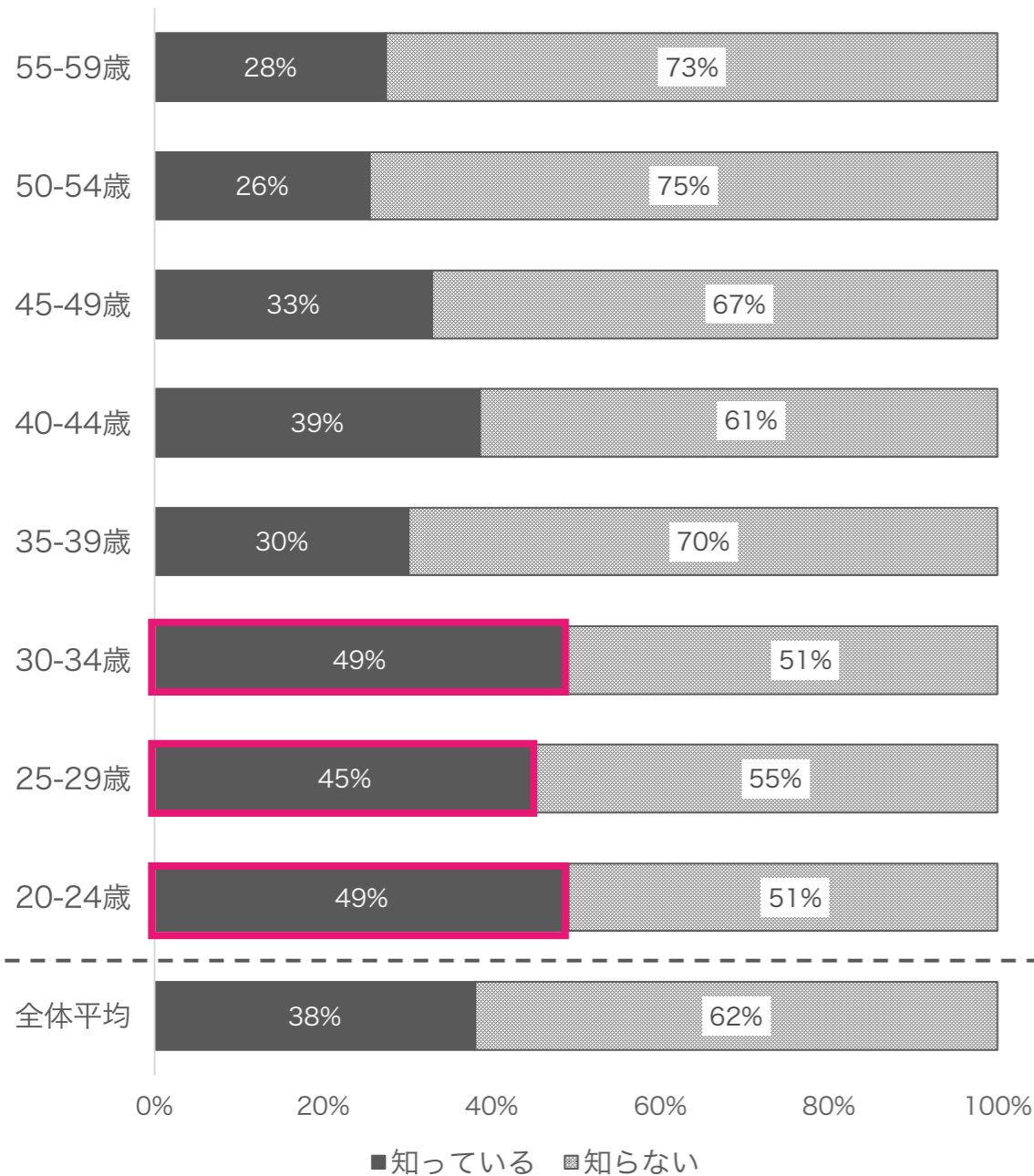


スキルシェアリングサービスの利用状況

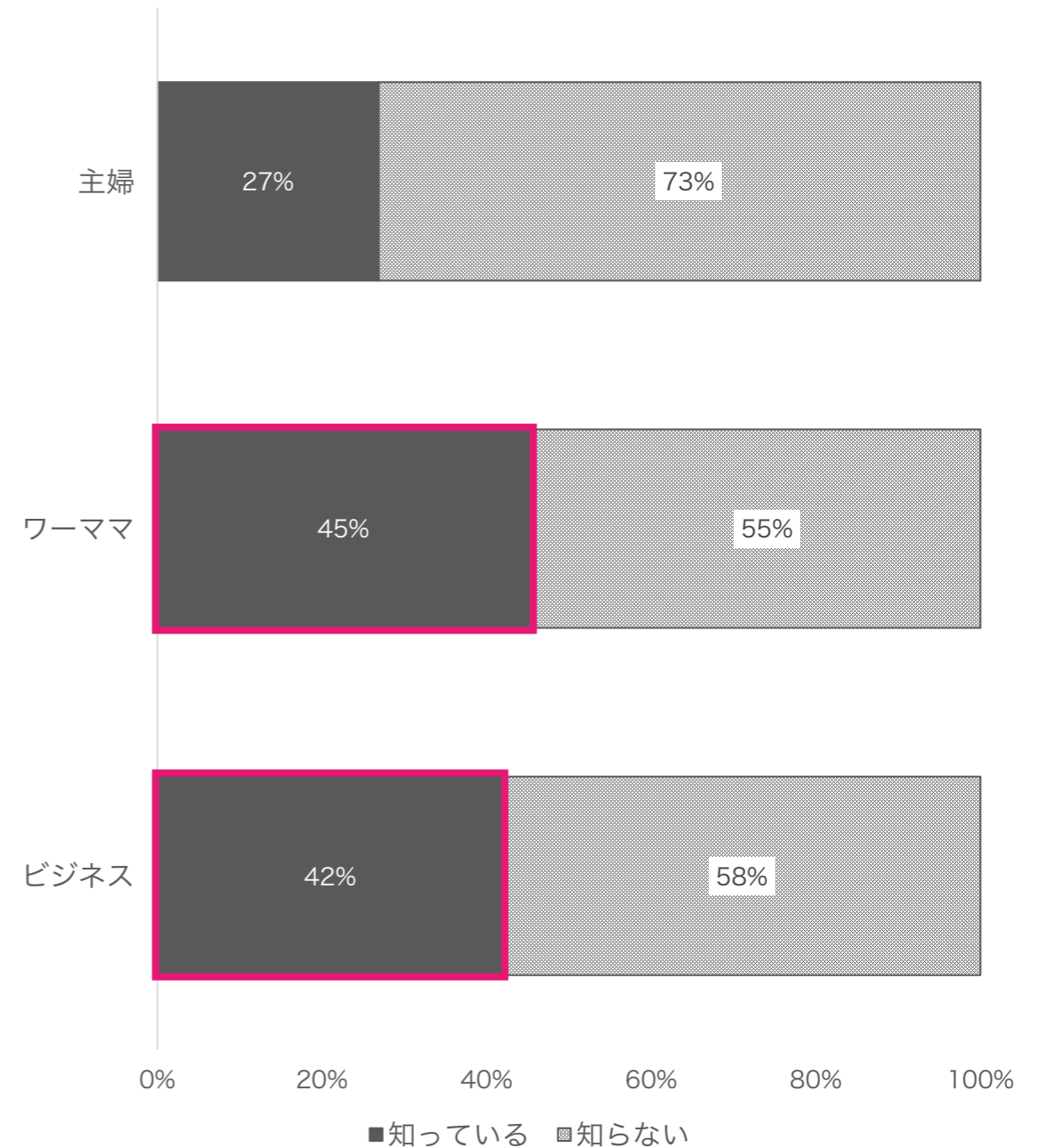
スキルシェアリングサービスは20-34歳の約5割が認知している。特に働いている女性の認知が高い。

Q. スキルシェアリングサービスを知っていますか。

年齢別

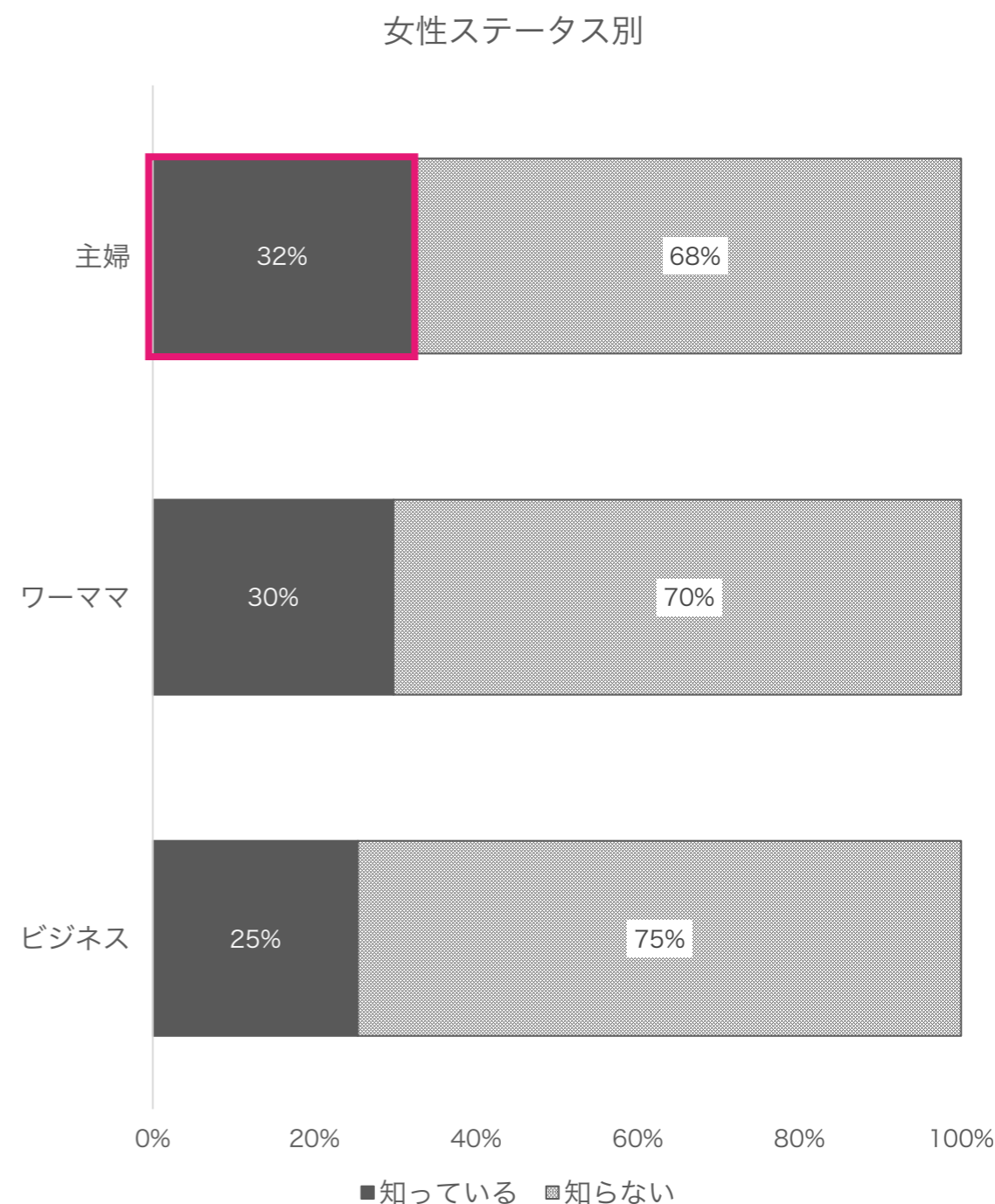
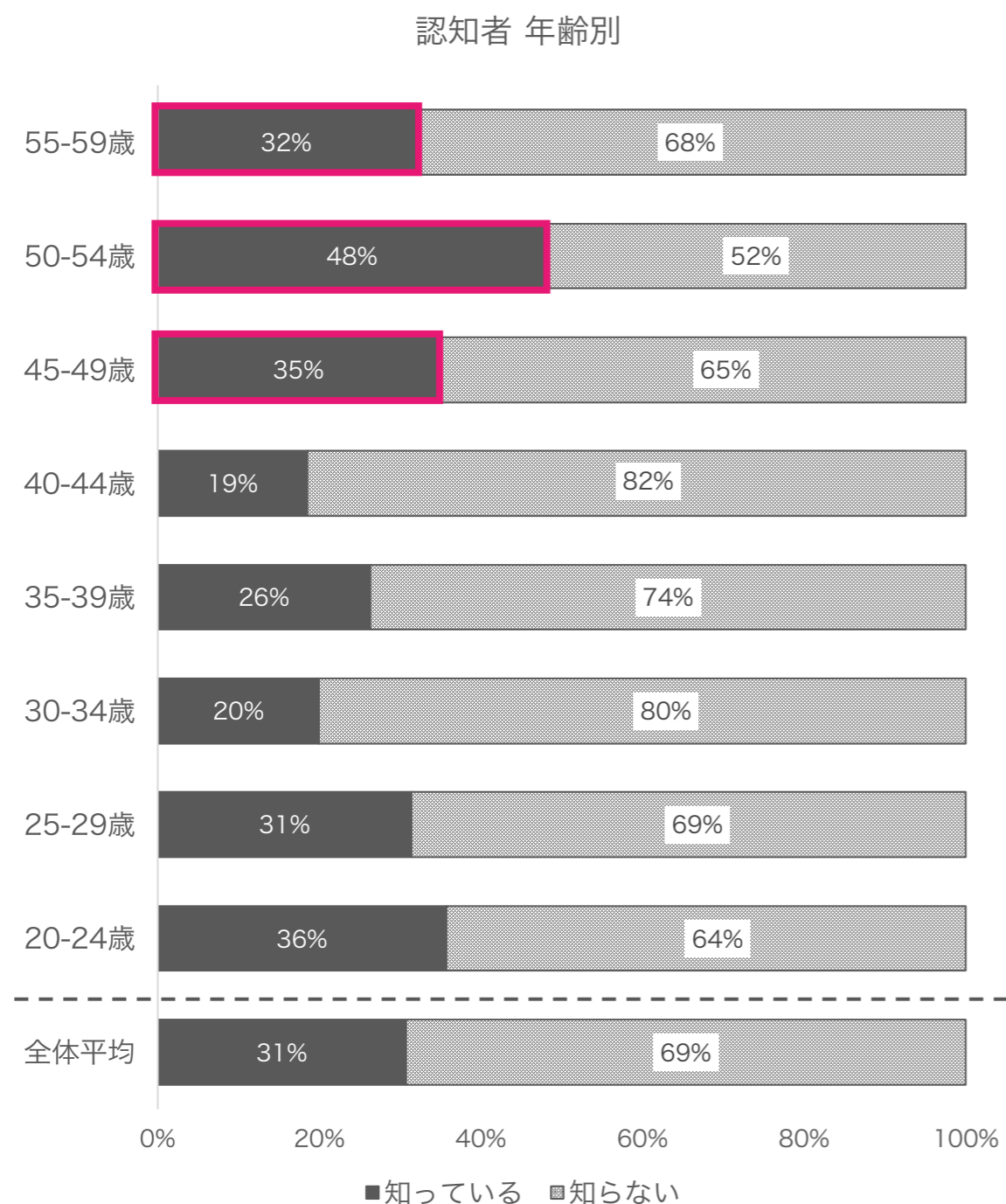


女性ステータス別



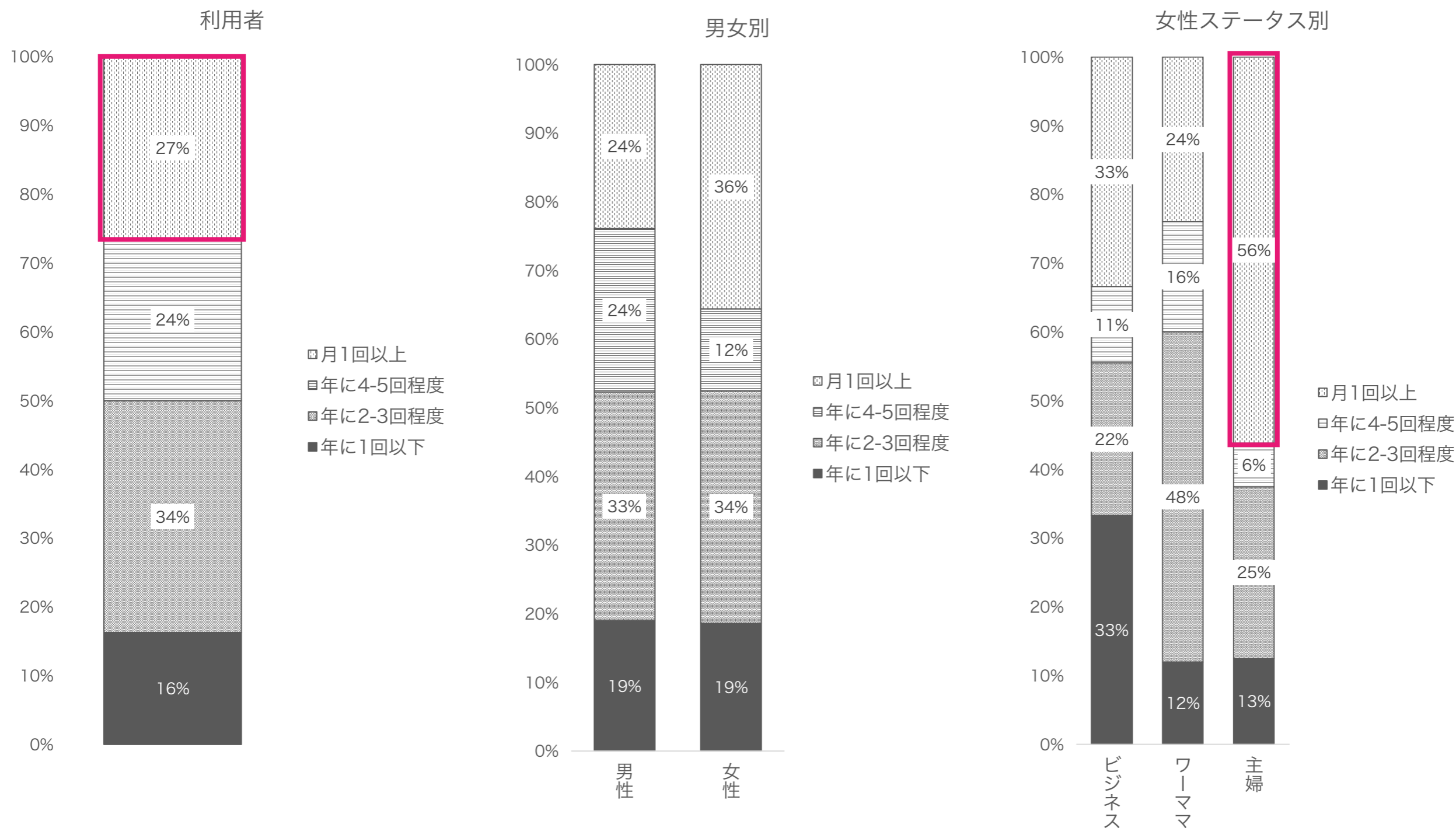
スキルシェアリングサービスを認知している中での利用率は、高齢の方が高く、主婦の方が高い。

Q. スキルシェアリングサービスを利用したことがありますか。



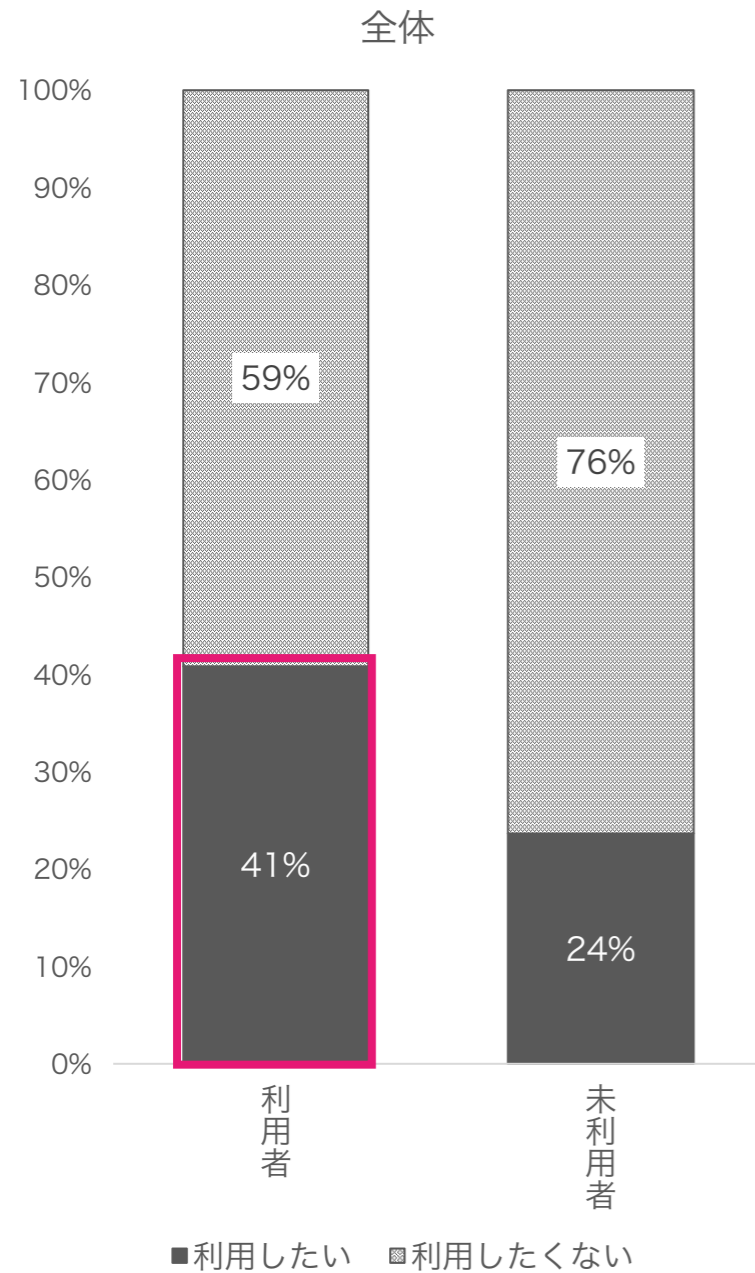
利用者のうち27%は月に1回以上スキルシェアを利用しており、特に主婦は56%が月に1回以上利用している

Q. あなたがスキルシェアリングサービスを利用する頻度を教えてください。

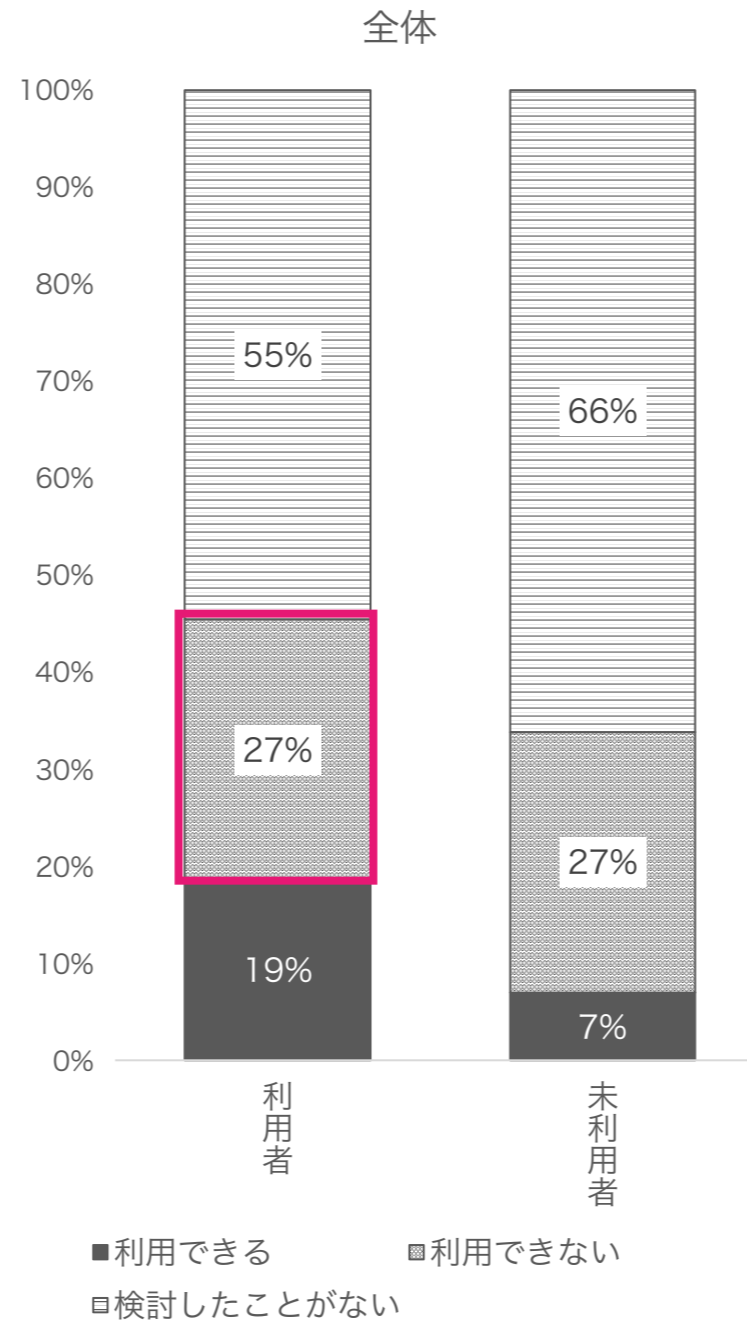


スキルシェアリングサービスの利用者の41%は本業での利用意向があるが、その約半数以上が「社内制度」「トラブル懸念」等の理由で利用できない

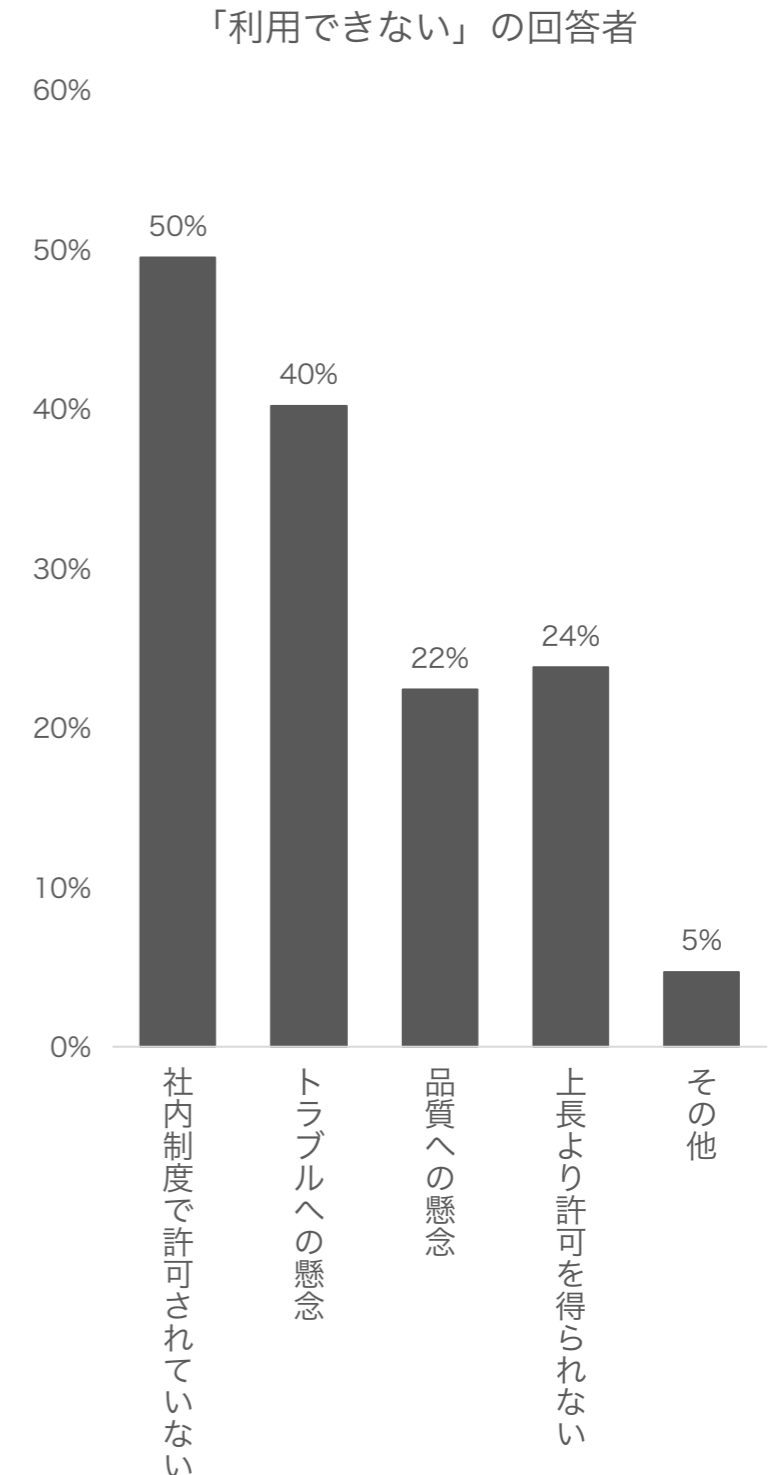
Q. 今後スキルシェアリングサービスを本業で利用したいですか。



Q. スキルシェアリングサービスを本業で利用できますか。



Q. 本業で利用できない理由を教えてください (複数回答可)



スキルシェアリングサービスの提供状況

男性は「旅行」「ITスキル」「家具組み立て」「資料作成」「デザイン」
 女性は「買い物」「託児・育児」「子育て」「料理」「掃除」に興味

Q. あなたのスキルを提供する場合、どのテーマで提供したいですか（複数回答可）。

男性/首都圏	領域	比率
1	旅行	19.8%
2	ITスキル	15.9%
3	資料作成	15.1%
4	デザイン	12.7%
5	プレゼン	10.3%

女性/首都圏	領域	比率
1	買い物	30.9%
2	託児・育児	28.1%
3	子育て	22.5%
4	料理	21.9%
5	掃除	16.9%

男性/大都市	領域	比率
1	家具組み立て	15.1%
2	DIY	12.6%
3	デザイン	11.8%
4	資料作成	11.8%
5	ITスキル	10.9%

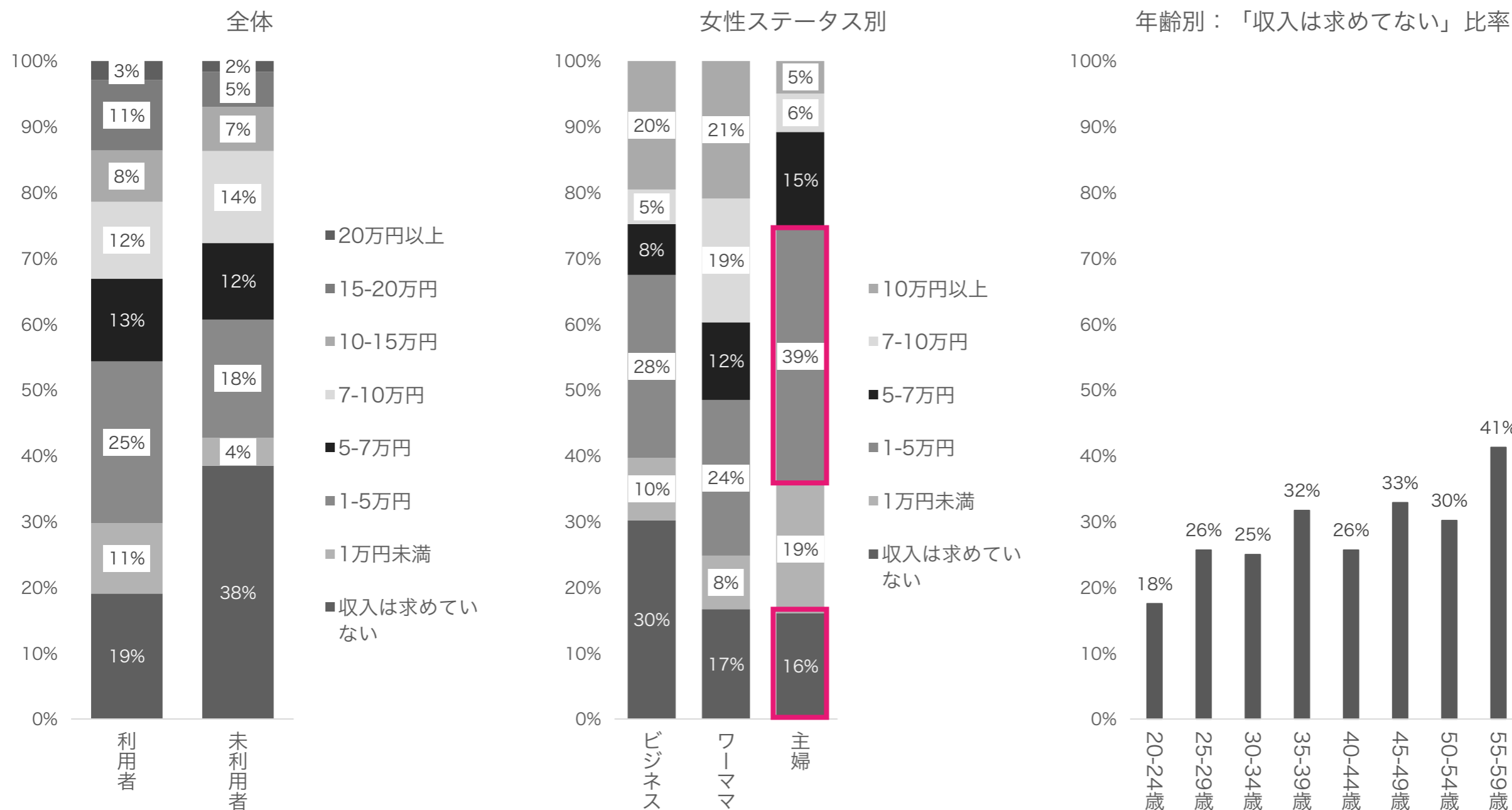
女性/大都市	領域	比率
1	買い物	31.1%
2	託児・育児	23.5%
3	子育て	20.8%
4	掃除	18.0%
5	旅行	16.4%

男性/地方	領域	比率
1	旅行	19.7%
2	掃除	17.1%
3	ITスキル	13.7%
4	仕事	13.7%
5	文書作成	12.8%

女性/地方	領域	比率
1	買い物	26.7%
2	託児・育児	18.3%
3	子育て	17.2%
4	料理	17.2%
5	掃除	15.6%

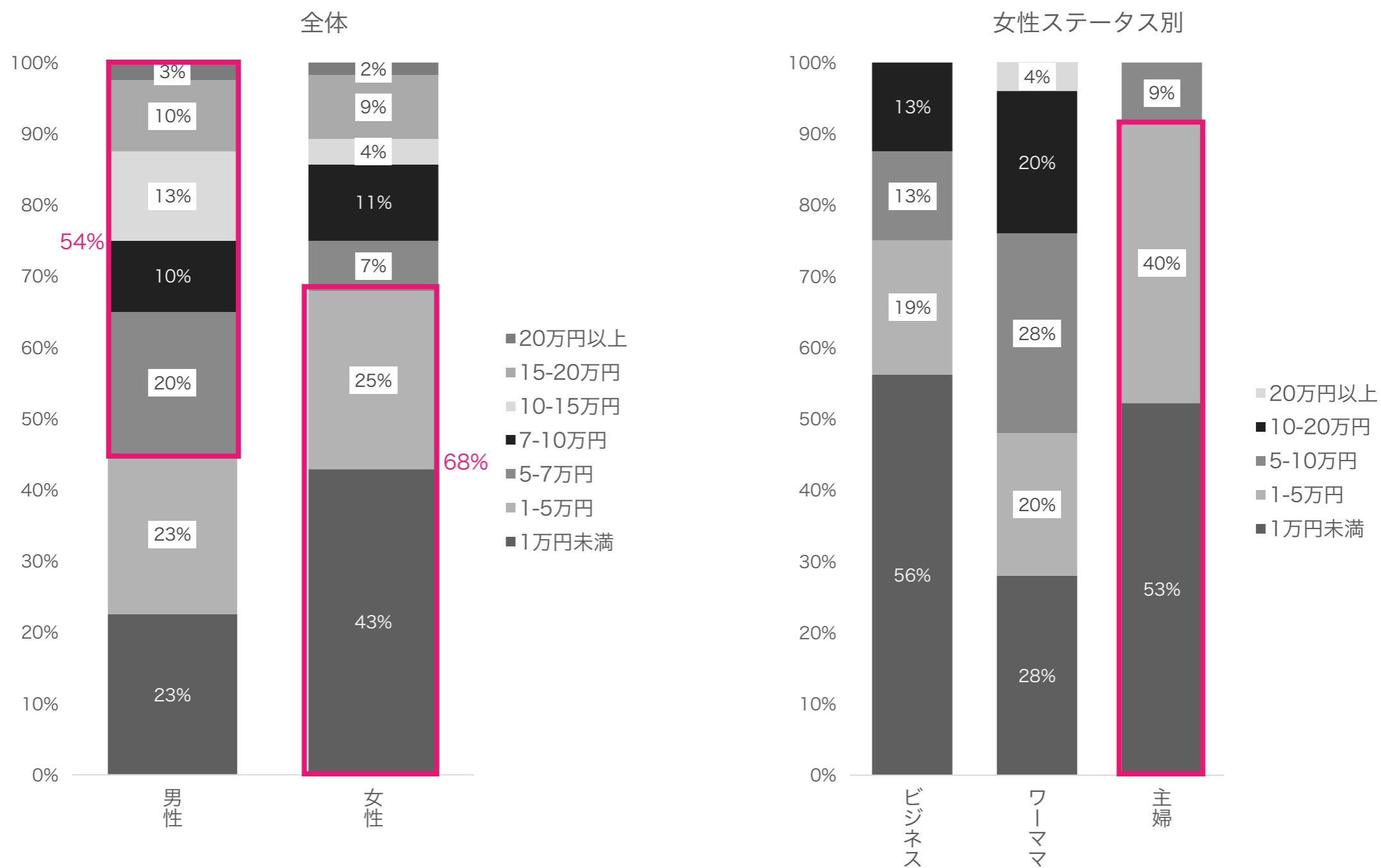
主婦の希望月収は1-5万円が39%と最も多い一方、収入を求めているは16%と少なく、シェアリング全体と較べてもスキルシェアの方が希望月収は多くなる傾向。

Q. あなたがスキルシェアリングサービスを提供する場合の希望月収を教えてください。



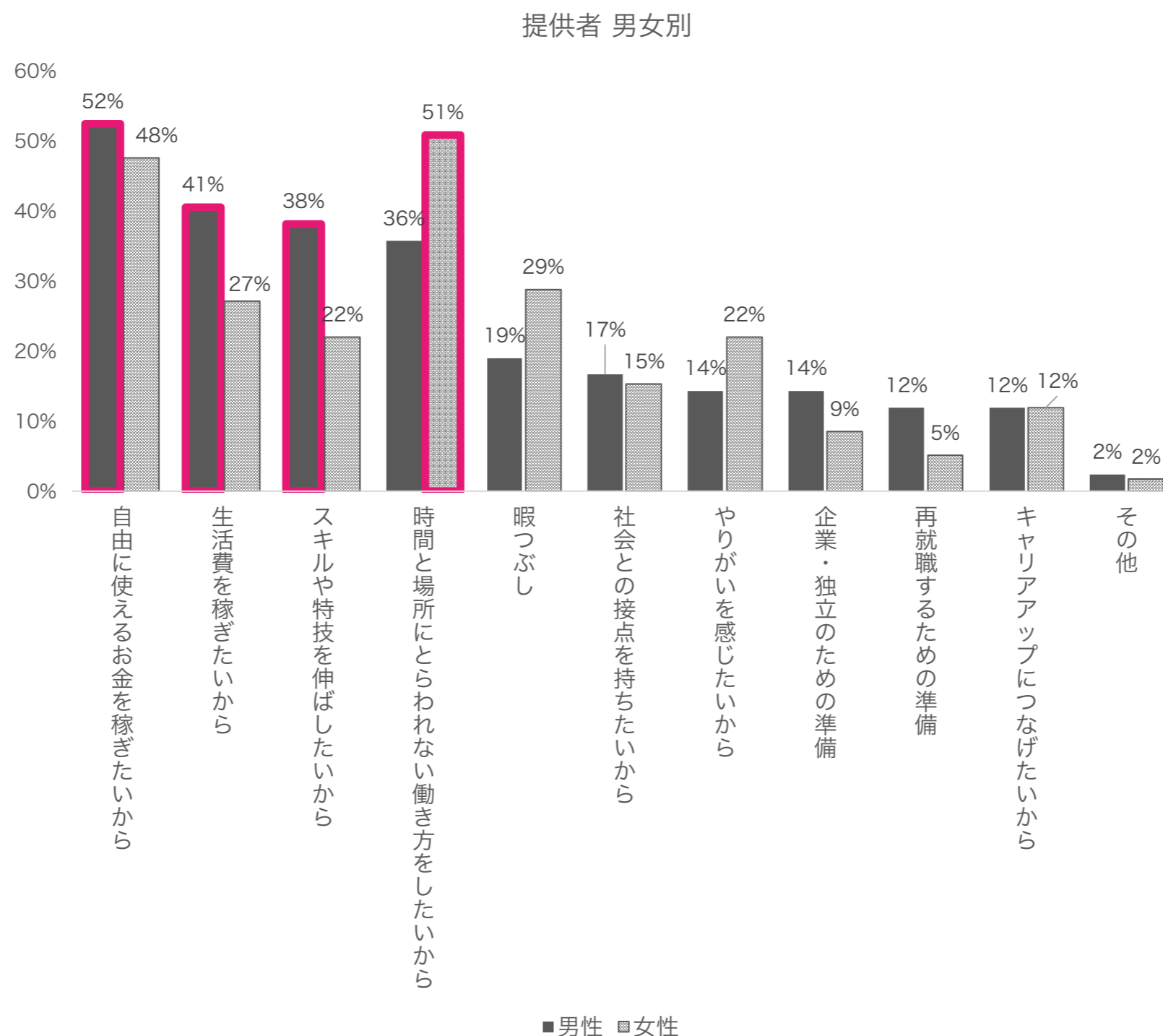
男性の5割以上は5万円以上の月収を得ているが、女性は、約9割の主婦が5万円未満の月収であることから、全体でも約7割が5万円未満となっている

Q. あなたがスキルシェアリングサービスを提供した際の平均月収を教えてください。



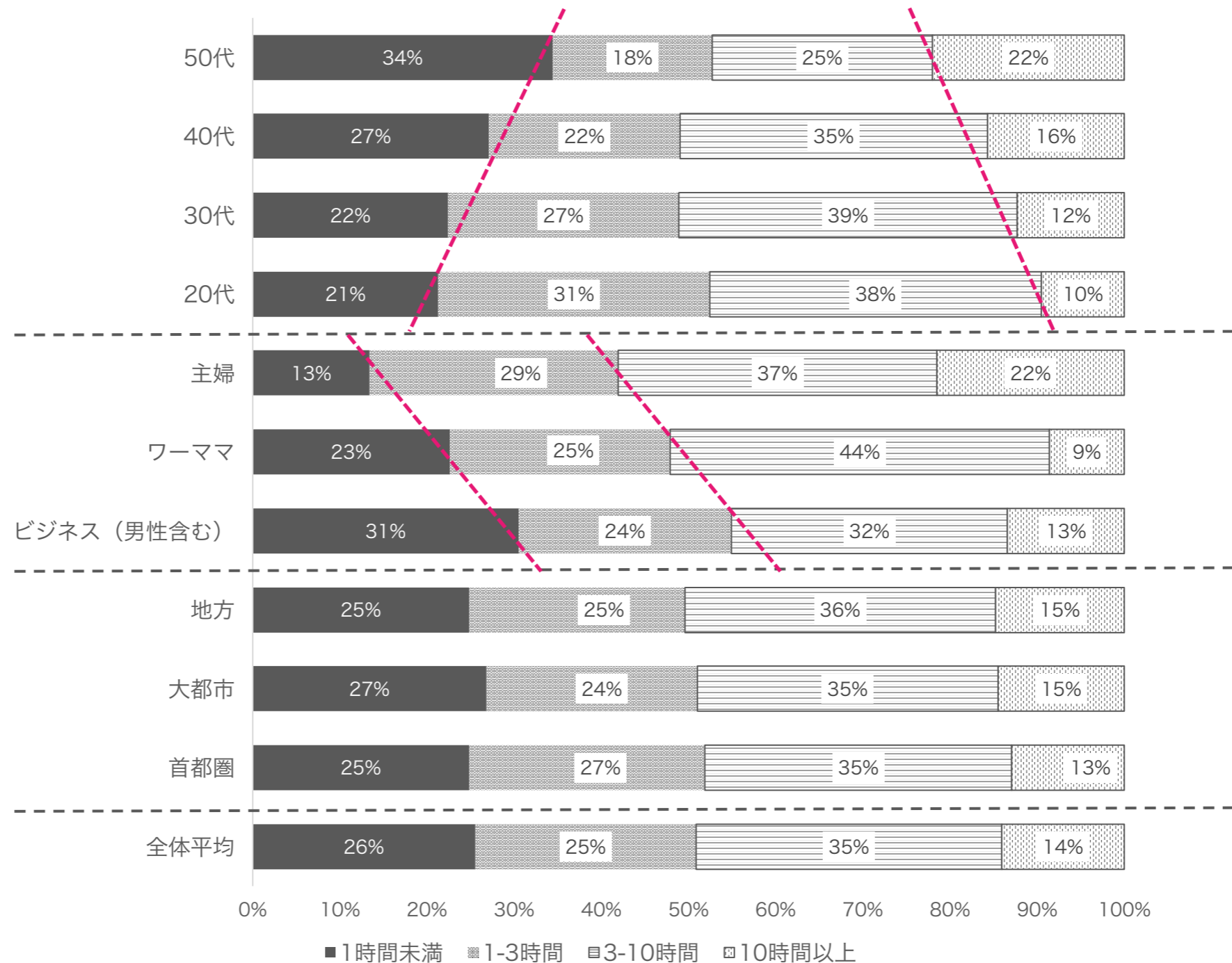
スキルシェアリングサービスを提供する理由は、男性がお金やスキル獲得が上位であるのに対し、女性は時間と場所にとらわれない働き方がトップ。

Q. あなたがスキルシェアリングサービスを提供する理由を選択してください（複数回答可）。



地域ごとの差は見られないが、主婦の方が時間が割ける傾向、及び年齢があがるとともに2極化する傾向が確認できる。

Q. あなたがスキルシェアリングサービスを提供する場合、毎月どのくらいの時間を割けますか。



- シェアリングサービスの利用者の満足度は高く、利用頻度も高い。まだ本業への展開の難しさ、その根底にある個人間取引におけるトラブルへの不安解消など課題は多いが、それらの課題が解決されれば大きく普及する可能性を秘めている。
- 突破口となるのは、本業での利用という意味における若い会社での導入や、地方の主婦における家事や子育て領域でのスキルシェアの利用・提供の普及ではなかるうか。
- トラブルへの不安解消という意味では、シェアリングサービス各社の努力に加えて、第三者機関による認証制度など、企業での導入の後押しになりそうな制度の普及が期待される。
- また地方の主婦への展開という点においては、各社の努力に加えて、自治体との連携による導入サポートが有効となりえそう